ISSN0289～0712

川崎市青少年科学館年報

第 41 号
2022 年度

ANNUAL REPORT OF THE
KAWASAKI MUNICIPAL SCIENCE MUSEUM

No.41
2022-2023

川崎市青少年科学館
（かわさき宙と緑の科学館）

目　次

はじめに　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1

第１章　概要
　１　沿革　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1
　２　施設　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2
　（１）施設概要
　　① 所在地
　　② 敷地面積
　　③ 建築
　（２）各施設
　　① 自然学習棟
　　② 研究管理棟
　（３）屋外展示
　３　運営組織及び職員　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　4
　（１）組織構成
　（２）職員
　４　川崎市社会教育委員会議 青少年科学館専門部会　・・・・・・・・・・・・・　5
　（１）設置根拠
　（２）活動内容

第２章　令和４年度事業報告
　新型コロナウイルス感染症拡大防止としての科学館対応　・・・・・・・・・　6
　１　利用状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　7
　２　収集保存事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　8
　（１）自然関係収蔵資料の分類・整理（台帳化）　・・・・・・・・・・・・・　8
　　①　収蔵標本（自然史資料）の整理および配架状況
　　②　分類群ごとの標本作製
　（２）ＧＢＩＦ等国内外機関への自然史資料情報の提供　・・・・・・・・・　8
　（３）収蔵庫研究利用実績　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　8
　（４）プラネタリウム番組アーカイブ化　・・・・・・・・・・・・・・・・・　8
　（５）太陽表面観測データ整理　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　8
　（６）寄贈資料整理（天文）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　9
　（７）所蔵図書および文献資料の整理　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　9
　（８）資料燻蒸　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　9
　（９）科学実験データ共有化　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　9
　(10) 開発実験器具等の保管　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　9
　(11) 科学館収蔵資料の貸与　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　9
　３　展示事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　9
　（１）自然　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　9
　　① 常設展示
　　② リアルタイムな情報発信
　　③ 新たな自然史資料による常設展示の更新
　（２）天文　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１０
　　① プラネタリウム一般投影
　　② プラネタリウム一般団体貸切利用「星空自由空間」
　　③ 星空ゆうゆう散歩
　　④ ベビー＆キッズアワー

⑤ プラネタリウム学習投影
⑥ 天文関連展示
（３）科学 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １７
① 常設展示
４ 調査研究事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １８
（１）学芸員・職員等による調査研究 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １８
① ムネアカハラビロカマキリ調査
② 川崎市域の生物調査
③ 川崎市域の星の見え方調査
④ 天体の観測
⑤ 気象観測
⑥ ワクワクドキドキ玉手箱の改良・新規開発
（２）外部研究者の受入 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １８
（３）生田緑地産ホトケドジョウ人工飼育・増殖 ・・・・・・・・・・・・・ １８
（４）市域の生物調査および自然史資料（標本）収集・作製 ・・・・・・・・ １９
５ 教育普及事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １９
おうちで楽しむデジタル科学館
① おうちでまなぼう！生き物と自然（自然）
② おうちでプラネタリウム（天文）
③ おうちでワークショップ（科学）
（１）自然 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １９
① 生田緑地観察会
② サイエンス教室（自然）
③ 市域の生物調査成果発表会
④ 地層観察
⑤ 林の観察
⑥ 総合的な学習の時間における学習支援
（２）天文 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２２
① 星を見る夕べ
② 出前教室（かわさき星空ウオッチング）
③ 天文サポーター
－１ 天文サポーター定例会
－２ 天文サポーター研修会
④ サイエンス教室（天文）
⑤ プラネタリウムでのイベント
⑥ 天文講演会
⑦ アストロテラス公開
－１ アストロテラス一般公開
－２ 昼間の星を見る会
⑧ プラネタリウムワークショップ
⑨ 市民プラネタリウム発表会
（３）科学 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２６
① サイエンス教室（科学）
② サイエスワークショップ
－１ サイエンスワークショップ
－２ サイエンスショー
③ 子ども創意くふう教室
④ 出前科学実験教室
⑤ かわさきサイエンスチャレンジ「科学と遊ぼう！ワクワクドキドキ玉手箱」
⑥ 科学サポーター研修会

⑦ 出前教室
⑧ ゆうゆう広場科学実験教室
⑨ 「ワクワクドキドキ玉手箱」の活用
（４）出版事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３３
川崎市青少年科学館紀要　第 33 号
① 論文・報告・記録
② 目録
（５）その他 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３４
新聞記事を含む普及的著作
６　ネットワーク事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３４
（１）展示・企画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３４
①　科学講座「プチロボで競走しよう」
②　科学講座「かながわリレー科学教室」
③　ＦＩＥＬＤ ＭＵＳＥＵＭ展：親子で楽しく学べるカガクおもちゃ
④　川崎市臨海部企画展示「なるほど！ザ・川崎臨海部」
⑤　市民天文講演会「星の音色」
⑥　天体写真展「美しい星々を追いかけて」
（２）調査研究・収集保存 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３５
①　川崎市域の生物調査
（３）学習支援 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３５
①　職場体験・職業インタビュー
②　中学校連合文化祭開催への協力
③　教員研修会
④　教職員社会体験研修
⑤　博物館実習
⑥　川崎市小学校理科優秀作品展
⑦　川崎市中学校理科優秀作品展
（４）地域振興・生田緑地内 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３７
①　川崎市立多摩図書館との連携事業「物語でめぐる星の世界　その７」
②　多摩区民祭
③　生田緑地サマーミュージアム
④　日本民家園との連携事業「七夕体験」「お月見デー」の実施
⑤　多摩区制 50 周年連続講座「生田緑地から辿る地域福祉の源流」
（５）生田緑地内施設及び指定管理者との広報活動の推進、各施設の回遊性の向上　３８
①　夏休み生田緑地スタンプラリー
②　生田緑地関係者による連携・協力
（６）博物館連携 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３８
７　広報活動 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３８
（１）ホームページアクセス数等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３８
（２）外部メディアにおける情報提供数 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３９
８　他施設交流 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３９
第３章　資料
１　刊行物 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４０
２　利用案内 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４０

はじめに

川崎市青少年科学館は、生田緑地（179.3ha）に立地する、市内唯一の自然科学系の登録博物館である。

平成 24 年 4 月 28 日に通称「かわさき宙（そら）と緑の科学館」としてリニューアルオープンし、最新鋭のプラネタリウム設備および一新された展示設備等を備えた自然学習棟、調査研究や資料収集等の設備を備えた研究管理棟から成っている。

館では、これらの設備や周囲の自然環境などを活用しながら、自然、天文、科学の各分野において、教育普及、調査研究、資料の収集保存等に取り組んでいる。

第１章　概要

１　沿革

年月日		沿革
昭和 44（1969）年	10月	（仮称）こども科学館構想
46（1971）年	8月15日	プラネタリウム館開館
	11月21日	D51 型蒸気機関車引渡式
47（1972）年	7月 1日	川崎市青少年科学館協議会設置
	7月21日	全国科学博物館協会・日本博物館協会・日本天文学会加入
48（1973）年	6月15日	神奈川県博物館協会加入
49（1974）年	4月27日	日本プラネタリウム協会加入
	7月 3日	青少年科学館本館基本構想答申
55（1980）年	2月	プラネタリウム機種更新（GMⅡ-16-T）
57（1982）年	2月27日	青少年科学館本館開館　天体観測室設置
	5月28日	博物館登録
58（1983）年	3月20日	青少年科学館本館展示室開館
	4月 1日	第 1 次川崎市自然調査開始
63（1988）年	4月 1日	第 2 次川崎市自然調査開始
平成 3（1991）年	4月 1日	第 3 次川崎市自然調査開始
5（1993）年	4月 1日	施設の管理運営を(財)川崎市市民ミュージアムに委託 （平成 11 年 4 月から(財)川崎市博物館振興財団に名称変更、 平成 17 年 4 月から(財)川崎市生涯学習財団に統合）
7（1995）年	4月 1日	第 4 次川崎市自然調査開始
10（1998）年	3月31日	青少年科学館基本構想策定
11（1999）年	4月 1日	第 5 次川崎市自然調査開始
15（2003）年	4月 1日	第 6 次川崎市自然調査開始
	11月 1日	メガスターⅡ公開（平成 16 年 4 月 1 日から通年公開）
17（2005）年	3月31日	生田緑地整備基本計画策定（環境局）
18（2006）年	4月 1日	施設の管理運営を(財)川崎市生涯学習財団から直営に移行
19（2007）年	4月 1日	第 7 次川崎市自然調査開始
20（2008）年	11月	青少年科学館改築基本計画策定
21（2009）年	3月	青少年科学館改築基本設計
22（2010）年	3月	青少年科学館改築実施設計
	8月	改築工事開始
23（2011）年	10月 1日	改築工事に伴い休館（平成 24 年 4 月 27 日まで）
24（2012）年	1月	市民公募により決定した通称「かわさき宙（そら）と緑の科学館」、愛称「サイエンスプリン」、マスコットキャラクター「かわさきぷりん」の使用開始
	3月	川崎市青少年科学館運営基本計画策定、改築工事終了
	4月28日	リニューアルオープン、MEGASTAR-Ⅲ FUSION 公開
25（2013）年	4月	指定管理者制度導入（学芸部門は直営） 移動天文車「アストロカー」導入（出前天文観測教室に利用）
30（2018）年	4月	指定管理者制度　第 2 期開始
令和 3（2021）年	8月	開館 50 周年
5（2023）年	3月	第 2 期川崎市青少年科学館運営基本計画策定

２　施設

（１）施設概要

①　所在地

川崎市多摩区枡形７丁目１番地２

②　敷地面積

3854.40 ㎡

③　建築

自然学習棟

建築年月日	平成 24 年 3 月 22 日
建築構造	鉄筋コンクリート造、一部 鉄骨造 3 階建て
建築面積	1528.52 ㎡

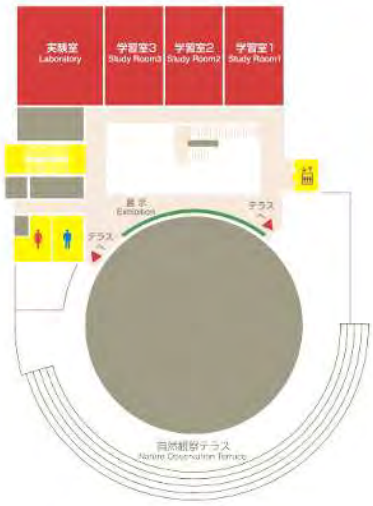
研究管理棟

建築年月日	昭和 57 年 2 月 27 日(平成 24 年 3 月 30 日改修)
建築構造	鉄筋コンクリート造 2 階建て
建築面積	617.43 ㎡

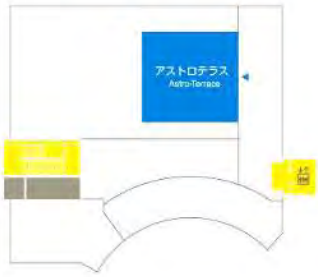
（２）各施設

①自然学習棟

1 階



2 階



3 階

展示室	川崎の自然・生物等に関する展示物を設置している。
ﾌﾟﾗﾈﾀﾘｳﾑ	最新鋭の投影システム「MEGASTAR-Ⅲ FUSION」により、精緻な星空投影を実施している。
学習室	学習会、講演会、企画展示等を行うための設備を備えている。
実験室	基礎から応用まで様々な科学実験を可能とする設備を備えている。

自然学習棟各室別面積

自然学習棟（延床面積 2149.29 ㎡）			
1 階	1512.80 ㎡	2 階	574.15 ㎡
展示室	379.89 ㎡	学習室 1	64.08 ㎡
ﾌﾟﾗﾈﾀﾘｳﾑ	388.62 ㎡	学習室 2	62.01 ㎡
ホール	248.61 ㎡	学習室 3	62.01 ㎡
ｶﾌｪﾃﾘｱ	114.74 ㎡	実験室	92.93 ㎡
その他	380.94 ㎡	その他	293.12 ㎡
		3 階	62.34 ㎡

②研究管理棟

1 階

2 階

標本製作室	標本整理のための作業台及び標本作成のための設備を備えている。
展示製作室	展示資料の更新作業等を行うための設備を備えている。
収蔵庫	生田緑地内および川崎市域等で収集された標本類を適切に保存するための設備を備えている。
調査研究室	職員、市民団体が自然に関する調査研究を行うための設備を備えている。
天体観測室	40 ㎝反射望遠鏡、天体撮影装置等、天文の調査研究を行うための設備を備えている。

研究管理棟各室別面積

研究管理棟（延床面積 929.00 ㎡）			
1 階	542.96 ㎡	2 階	366.72 ㎡
事務室	89.66 ㎡	調査研究室	104.10 ㎡
標本製作室	46.40 ㎡	天体観測室	41.26 ㎡
展示製作室	34.97 ㎡	図書資料室	83.76 ㎡
収蔵庫	144.00 ㎡	その他	137.60 ㎡
その他	227.93 ㎡	屋上	19.32 ㎡

渡り廊下（研究管理棟～自然学習棟）	38.36 ㎡

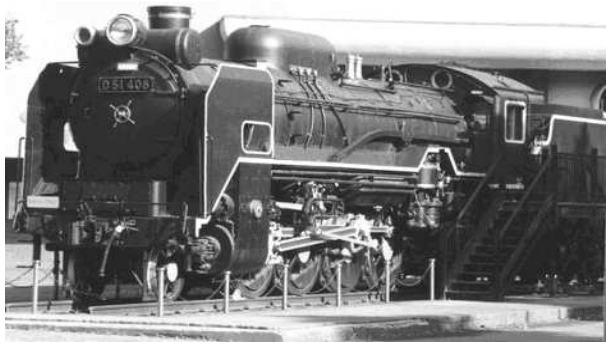
（3） 屋外展示

IDI 過熱テンダー機関車（D51 408 号機）

昭和 15 年 4 月 12 日、日本車輌製造株式会社で製造され、北陸線・山陽線・山手線などで主に貨物輸送に活躍した。

昭和 45 年 11 月、新鶴見機関区で廃車となり、昭和 46 年 10 月、青少年科学館に生きた教材（愛称：でこちゃん号）として展示されることになった。国鉄大宮工場で解体され、30 t 積みトレーラー3 台、8 t 積みトラック 4 台に分けて運搬され、組立の上設置された。

平成 23 年 3 月、アスベスト対策工事実施。



（最大 1,200 馬力、全長 19.5 m、高さ 3.9 m、幅 2.8 m、機関車空車 70 t、炭水車空車 19 t）

3　運営組織及び職員

（1）組織構成

館　長

- 【管理】 ―― 職　　員（1名）
  - ・館の庶務・財務事務
- 【自然】 ―― 職　　員（3名）
  会計年度任用職員（1名）
  - ・資料収集・保管、調査・研究、教育普及・展示
  - ・科学普及
- 【天文】 ―― 職　　員（2名）
  会計年度任用職員（3名）
  - ・天文、プラネタリウム事業
- 【科学普及・学校支援】 ―― 指　導　主　事（1名）
  - ・科学普及、学校支援
- 指定管理者
  - ・施設管理、広報

（2）職員

（令和4年4月1日現在）

	氏名	職名	担当
館長	久保　愼太郎	館長（事務職員）	館総括
管理	川上　克哉	担当係長（事務職員）	管理、庶務
自然	髙中　健一郎 本郷　智子 服部　隆博 津田　由美子	担当係長（技術職員・学芸員） 主任（事務職員） 主任（事務職員・再任用短時間） 会計年度任用職員	自然科学班総括
天文	弘田　澄人 内藤　武 田中　里佳 村上　ひろ子 三浦　飛未来	担当係長（技術職員・学芸員） 任期付職員（技術職員・学芸員） 会計年度任用職員 会計年度任用職員 会計年度任用職員	天文班総括
科学普及・学校支援	杉浦　孝弘	指導主事	

※指定管理者除く

４　川崎市社会教育委員会議　青少年科学館専門部会　（旧称：川崎市青少年科学館協議会）

（１）　設置根拠

青少年科学館の円滑な運営を図るため設置されている川崎市青少年科学館協議会は、川崎市の全庁的な附属機関の見直しに伴い、平成 28 年度より川崎市社会教育委員会議の「専門部会」に位置付けられた。委員定数は 10 名以内。市内の学校教育職員、社会教育関係者、学識経験者及び公募市民の合計 10 名で構成されており、令和４年度は次のとおり協議を行った。

（根拠法令）

・川崎市社会教育委員条例第３条

・川崎市社会教育委員会委員会議規則第６条

青少年科学館専門部会委員名簿（任期：令和４年５月１日～令和６年４月 30 日）　◎部会長　○副部会長

氏名	役職名	氏名	役職名
高橋　泉	中学校教育研究会理科部会 部会長（白鳥中学校 校長）	常喜　　豊	昭和女子大学 人間社会科学部　特任教授 （動物生態学）
上野　和美	小学校理科教育研究会 会長（藤崎小学校 校長）	田中　徳久	県立生命の星・地球博物館 学芸部長 （植物生態学）
川島　逸郎	日本トンボ学会 編集委員 （昆虫学）	山岡　　均	国立天文台天文情報センター センター長／准教授　（天文学）
南條　邦子○	公募市民	眞壁　総子	特定非営利活動法人 ままとんきっず　理事長（家庭教育）
服部　公俊◎	公募市民	栗芝　正臣	専修大学 ネットワーク情報学部　准教授 （デザイン学）

（２）　活動内容

開催日	会場	主な内容
令和４年 ６月 17 日（金）	自然学習棟学習室	令和４年度事業計画、運営基本計画
12 月 7 日（水）	自然学習棟学習室	令和４年度事業計画中間報告
12 月 10 日（土）～ 17 日（土）	科学館内外	各委員による個別の事業視察
令和５年 ３月 17 日（金）	自然学習棟学習室	令和４年度事業評価

第２章　令和４年度事業報告

新型コロナウイルス感染症拡大防止としての科学館対応

新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、令和２年度より事業の休止、開催回数・定員の減、徹底した感染防止対策を実施してきた。令和４年度も引き続き、３密回避の感染防止対策を徹底した上で、開館業務並びに各種事業等の博物館活動を行った。

日にち	館の対応	対応内容
令和２年度から継続実施	プラネタリウム定員減の継続（100 人）	イベント開催ガイドライン内の定員 50%を踏まえ、座席定員を通常 200 人から 100 人に変更。土日祝日の投影４回は継続。
	入館者への協力依頼	科学館入口にて検温を行い、手指消毒とマスク着用のお願いの呼びかけを継続実施。
	教育普及イベントの限定開催	３密回避として、会場内の換気徹底、参加者同士の距離確保、密を伴わない定員設定を継続し、サイエンス教室、サイエンスワークショップ等の自然・天文・科学分野の教育普及イベントを開催。
	アストロテラス開放夜間天体観測会の再開	アストロテラスは平日のみ開放、夜間天体観測会「星を見る夕べ」はこれまでの自由参加方式から事前予約制定員 50 名に変更して再開。望遠鏡は接触防止キャップを使用。
	「おうちで楽しむデジタル科学館」ＨＰ掲載	臨時休館、外出自粛継続中に家庭で館の魅力に触れてもらえるよう、館ＨＰに自然、天文、科学の各分野の取組を紹介。
令和３年度から継続実施	フュージョン投影の再開	定員を 70 名とし、新番組「過去と未来の旅」から投影を再開。新番組の利用ニーズをふまえ、水曜日、第一木曜、土日祝日にフュージョン投影を設定。
	星空ゆうゆう散歩の継続実施	令和２年度は休止していた「星空ゆうゆう散歩」を、令和３年度から引き続き、定員 100 名にて実施。
	プラネタリウム学習投影受入定員の見直し	令和３年度に引き続き、１投影につき１団体限定、上限 100 名での投影実施を学校側と確認。当日の登校時の検温、入館前の手指消毒等の感染防止対策を学校団体と協力の上で実施。
	生田緑地観察会の再開	新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえ、委託先である「特定非営利活動法人かわさき自然調査団」と協議し、令和３年 12 月から事前申込制にて、定員数を設定して再開し、令和４年度も引き続き実施。
令和４年 10 月１日～	展示室「触れる展示」の再開	展示室内に手指消毒用のアルコールを設置し、ハンズオン展示を再開。ハンズオン展示のうち、覗く展示は目元の消毒が困難なことから、休止を継続中。
令和４年 10 月７日～	自然学習棟２階の自然観察テラス	利用者の長時間滞在及び飲食を未然に防ぐため、自然学習棟２階の自然観察テラスの利用を休止していたが、10 月７日から利用を再開。

1　利用状況

				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入館者数				17,700	24,033	19,977	21,216	22,209	21,951	24,558	23,742	16,050	17,967	20,577	19,669	249,649
入館者数のうち	プラネタリウム観覧者数			3,806	5,773	5,840	6,250	6,493	5,842	6,495	5,705	4,325	4,907	5,255	5,411	66,102
	プラネタリウム観覧者数内訳	学習投影		0	727	2,041	481	278	1,684	1,396	1,451	1,138	1,197	1,446	1,061	12,900
		一般投影		3,806	5,046	3,799	5,769	6,215	4,158	4,922	4,191	3,100	3,710	3,809	4,350	52,875
			一般投影観覧者数内訳 一般	2,236	2,930	2,186	3,083	3,227	2,380	3,015	2,398	1,704	2,041	2,173	2,312	29,685
			高校・大学生	101	221	181	111	164	107	110	154	123	94	156	244	1,766
			65歳以上	292	392	420	365	337	388	383	459	339	385	386	433	4,579
			中学生以下	1,177	1,503	1,012	2,210	2,487	1,283	1,414	1,180	934	1,190	1,094	1,361	16,845
		特別投影		0	0	0	0	0	0	177	63	87	0	0	0	327
	講座等参加者数			239	483	288	541	337	506	634	510	447	496	463	408	5,352
	ｱｽﾄﾛﾃﾗｽ公開時入場者数			283	145	93	72	0	192	168	472	356	485	532	481	3,279
館外活動参加者数				0	8	264	287	344	487	1,206	1,523	1,356	836	1,247	196	7,754
利用者数合計				17,700	24,041	20,241	21,503	22,553	22,438	25,764	25,265	17,406	18,803	21,824	19,865	257,403
開館日数				26	25	26	27	24	26	26	24	24	24	23	26	301
1日平均利用者数				681	962	779	796	940	863	991	1,053	725	783	949	764	855

プラネタリウム 4/4～8、8/29～9/2 休止、再開後全期間定員減

年度別利用者の推移

年度	入館者数	入館者数のうち			館外活動参加者	利用者総数	(企画展)※
		ﾌﾟﾗﾈﾀﾘｳﾑ	ｱｽﾄﾛﾃﾗｽ	講座等参加者			
平成24年度	367,238	148,693	51,171	16,197	18,630	385,868	
25年度	301,399	125,739	29,338	12,904	16,296	317,695	
26年度	292,238	115,819	24,659	14,548	17,025	309,263	
27年度	293,333	110,824	21,198	11,474	14,526	307,859	
28年度	283,423	104,187	21,147	11,115	12,486	295,909	
29年度	288,130	106,456	20,179	11,867	13,140	301,270	
30年度	271,761	108,205	16,766	15,115	13,562	285,323	
令和元年度	251,346	95,072	13,903	10,089	10,677	262,023	
令和2年度	178,245	44,923	3,151	3,783	5,109	183,354	
令和3年度	253,177	68,417	5,716	5,129	5,008	258,185	8,547
令和4年度	249,649	66,102	3,279	5,352	7,754	257,403	13,336

平成24年度リニューアルオープン

※令和３年度から、学習室で実施した企画展の観覧者数を掲載

２　収集保存事業

（１）自然関係収蔵資料の分類・整理（台帳化）

① 収蔵標本（自然史資料）の整理および配架状況

電子台帳への登録について、昆虫標本は 280 点を登録し、そのうち新規作製標本が 119 点、植物標本は 472 点を登録し、すべて新規作製資料である。このほか寄贈資料の昆虫標本 865 点について目録を作成し、紀要第 33 号で公表した。

② 分類群ごとの標本作製

資料収集として剥製及び標本化を行い、哺乳類 1 点、鳥類 18 点、爬虫類 1 点、昆虫 343 点、植物 472 点、計 835 点を新規に作製した。

（２）ＧＢＩＦ等国内外機関への自然史資料情報の提供

S-Net（サイエンスミュージアムネット）および GBIF（地球規模生物多様性情報機構）にて収蔵資料の情報を国内外へ公開するために、（独）国立科学博物館へ標本データ 3,200 点を提供した。S-Net は、（独）国立科学博物館が運営するウェブサイトであり、全国の自然史系博物館等が所蔵する「自然史標本」の情報等を国内向けにデータ公開している。GBIF は、（独）国立科学博物館を中心に推進している自然史標本データ整備事業であり、生物多様性に関する情報を各国、各機関で収集し、ネットワークを通じて全世界的に相互活用することを目的とする国際協力による科学プロジェクトである。プロバイダごとにデータが集積され、その数は GBIF 全体では約 22 億件（2022 年 2 月時点）に達している。

（３）収蔵庫研究利用実績

外部研究者による収蔵資料（標本）の研究に伴う収蔵庫利用や見学の内訳は、以下の通りである。
※「特定非営利活動法人かわさき自然調査団」による利用実績は、のべ 33 件 205 人である。

利用日	利用者（機関・団体・個人）	利用人数
5 月 26 日（木）	堀内慈恵（神奈川県植物誌調査会）	1
6 月 8 日（水）	堀内慈恵（神奈川県植物誌調査会）	1
6 月 21 日（火）	堀内慈恵（神奈川県植物誌調査会）	1
7 月 6 日（水）	堀内慈恵（神奈川県植物誌調査会）	1
7 月 26 日（火）	堀内慈恵（神奈川県植物誌調査会）	1
7 月 27 日（水）	堀内慈恵（神奈川県植物誌調査会）	1
8 月 16 日（火）	堀内慈恵（神奈川県植物誌調査会）	1
9 月 11 日（日）	堀内慈恵（神奈川県植物誌調査会）	1
9 月 29 日（木）	堀内慈恵（神奈川県植物誌調査会）	1
10 月 6 日（木）	堀内慈恵（神奈川県植物誌調査会）	1
10 月 21 日（金）	堀内慈恵（神奈川県植物誌調査会）	1
12 月 7 日（水）	堀内慈恵（神奈川県植物誌調査会）	1
12 月 22 日（木）	堀内慈恵（神奈川県植物誌調査会）	1
1 月 17 日（火）	堀内慈恵（神奈川県植物誌調査会）	1
1 月 20 日（金）	堀内慈恵（神奈川県植物誌調査会）	1
2 月 21 日（火）	堀内慈恵（神奈川県植物誌調査会）	1
3 月 17 日（金）	田中徳久（神奈川県立生命の星・地球博物館）	1
	合計	17

（４）プラネタリウム番組アーカイブ化

番組制作時に収集した資料と投影番組の素材、プログラム等をアーカイブ化しシステムに保存した。

（５）太陽表面観測データ整理

アストロテラス太陽望遠鏡による太陽の白色光とＨα光の観測を継続して実施している。そのデータをハー

ドディスクに保存整理した。

（6）寄贈資料整理（天文）

元東京天文台講師の冨田弘一郎氏から寄贈された天文資料の整理を引き続き実施し、6,821 点のリスト化を行った。また、天文古書等の資料のデジタル化を開始した。

（7）所蔵図書および文献資料の整理

交換あるいは寄贈を受けた雑誌や図録などは、発行元の各館または施設ごとに設置した紙箱（ボックス）に逐次収納している。

担当職員　　津田由美子　村上ひろ子（受入・記録・仮配架）

（8）資料燻蒸

令和 4 年 8 月 29 日から 9 月 3 日まで、酸化プロピレン・アルゴン混合ガスによる殺虫、殺卵、殺カビを目的とした収蔵庫の燻蒸を行った。これに伴い、8 月 31 日（火）を臨時休館とした。

（9）科学実験データ共有化

科学実験教室やサイエンスワークショップごとに報告される報告書の管理及び実践事例等の収集を行った。科学ボランティア団体が相互に活用できるよう、「令和 4 年度　実践事例集」となる計画書の整理・収集を行った。

(10) 開発実験器具等の保管

玉手箱の管理と保管と利便性の向上のため、科学実験教室で使用する消耗品などの補充や、使用できる備品の整理などを度計画し、新型コロナウイルス感染症拡大の状況をふまえ、令和 4 年度は 1 回実施した。

(11) 科学館収蔵資料の貸与

茅野市八ヶ岳総合博物館、長野市立博物館

巡回企画展「信州天文文化 100 年」の開催にあたり、当館所蔵の箕輪資料から写真 5 点を貸与した。

3　展示事業

（1）自然

①　常設展示

川崎の自然を 1 階展示室で「川崎の大地」「丘陵の自然」「街の自然」「多摩川の自然」「生田緑地ギャラリー」と 5 つのコーナーに分けて紹介した。　（令和 4 年 10 月より「触れる」展示を再開、覗く展示のみ休止を継続）

「川 崎 の 大 地」…生田緑地約 100 万年の歴史を約 5 分の 1 に縮小した 8 m の「地層タワー」で再現。有孔虫化石の顕微鏡観察。川崎市内で発掘されたアケボノゾウ（*Stegodon aurorae*）の臼歯化石（市重要天然記念物（「カントウゾウ（*Parastegodon kwantoensis*）」基準（ホロタイプ）標本として・昭和 48 年 3 月 14 日指定）や、飯室層（上総層群）から産出する代表的な化石の展示。

「丘 陵 の 自 然」…川崎の丘陵地で見られるさまざまな動植物を、季節ごとに分類して展示。谷戸に生息する生物についてジオラマで生態を解説しているほか、里山でみられる代表的な生物を、柱状展示等で見せている。壁面には、里山の「生態系」をイメージした展示。

「街　の　自　然」…川崎で暮らしているハクビシンやアライグマの剥製標本展示のほか、都会に適応した生物の代表として、ハシブトガラスやセイヨウタンポポなどを生態展示で見せている。都会でみられるセミ類や鳥類などは、音声を活用した展示を行っている。

「多摩川の自然」…多摩川 138 km の始まりから終わりまでを、立体地図と断面図で展示。多摩川の上流から下流、河口までの生き物（水生生物や鳥類など）や石の状態、河口干潟などを展示。

「生田緑地ギャラリー」…生田緑地に生息する生き物たちを、標本や写真・レプリカで紹介。引出し展示を多用し、生物から地層の剥ぎ取りに至るまで、幅広く実物（標本）を展示している。

② リアルタイムな情報発信

生田緑地の自然について、日常的に観察・撮影した写真等のリアルタイムな情報発信（受付横「緑地案内ボード（緑地マップ）」を活用）を定期的に実施し、2 週に 1 回の頻度で更新した。また、SNS を活用し、自然情報や展示紹介など 84 回更新した。

③ 新たな自然史資料による常設展示の更新

生田緑地の動植物を季節ごとに展示する「生田緑地の四季だより」の写真をキャプションとともに 4 回更新し、計 32 点を展示した。また、自然分野サイエンスワークショップの題材等をピックアップコーナーにて展示し、適宜更新した。

（2）天文

① プラネタリウム一般投影

市民への天文知識普及を目的とし、定期的に新番組制作の上、その時季に見られる天文現象なども交えながら、解説員のマニュアル操作・生解説によるきめ細かい投影を行った。

新型コロナウイルス感染症対策として定員を削減し身体的距離を確保するとともに、換気、座席の消毒作業のため投影回数を削減して実施した。

一般向け投影 （平日 15:00～、土日祝日 12:00～、15:00～）

	投影話題	内容
4 月	大人の学習投影	星の明るさと色、星や月の動きなど、小中学校の学習投影を一般向けに体験してもらう。
5 月	星座いま・むかし	国際天文学連合による 88 星座制定から 100 年にちなみ、星座の始まりと変遷について解説する。
6 月	宇宙のはじまり	ビッグバンと宇宙背景放射、宇宙の大規模構造について解説する。
7 月	七夕のほし	七夕にまつわる伝説と各地の七夕の風習、七夕の星と中国の星座について解説する。
7 月 20 日～8 月	今年で白寿！プラネタリウム大解剖	プラネタリウム誕生 99 年にちなみ、プラネタリウムの歴史と機能を紹介する。
9 月	星たちのダンス	「回る」をキーワードに惑星の自転、公転、銀河の回転など、天体の回転運動について解説する。
10 月	ちょっと残念な天体たち	流星群や彗星など、期待外れに終わった天文現象を取り上げ、その仕組みについて解説する。
11 月	遠くの銀河を求めて	すばる望遠鏡の成果を中心に遠方の銀河を紹介する。

12 月	惑う星を追いかけて	惑星の視運動に注目し、天動説から地動説へのコペルニクス的転回について解説する。
1 月	暦ができるまで	月の満ち欠けや太陽の動きなど天体の運行の規則性と暦について解説する。
2 月	宵の明星・金星	一番星の金星を紹介し、探査によって分かった金星の素顔や環境について解説する。
3 月	メシエ天体の世界	メシエの業績と天体カタログに触れ、様々な星雲、星団を紹介する。

フュージョン投影「過去と未来への旅」
（土日祝日 10:30、水曜日・第 1 木曜日　13:30　一般投影にて投影）

子ども向け投影（土日祝日 13:30）

	投影話題
4月～ 7月18日	ドーナツ星雲をつくろう！？
7月20日～ 8月	南半球へ行こう！／夏の星空さんぽ
9月～10月	日食と月食のひみつ
11月～12月	流れ星み～つけた！！
1月～2月	ももんがさんとおほしさまじゅーす
3月	おたんじょうびの星座たち

②　プラネタリウム一般団体貸切利用「星空自由空間」

世界最高水準のプラネタリウム機「メガスターⅢフュージョン」の更なる活用を図り、プラネタリウムの魅力を発信するため、プラネタリウムを団体で貸切り、投影を楽しむことができる「星空自由空間」を実施した。

リクエストに応じた投影、全天周プロジェクターによる持込み映像上映等のほか、障がい者、福祉施設などで他の来館者に気兼ねなく利用してもらうなど、幅広い活用を想定している。

引き続き関係方面への周知を行い、利用を増やし検証を行う。

■利用方法等	
対 象 団 体	原則として 20 人以上の団体　（例：福祉施設、企業、生涯学習団体等）
利 用 日 時	平日（火～金）の１０：００～１４：３０ （ただし、学習投影実施時間帯、休館日等を除く。）
予 約 方 法	利用希望日の３か月前から１か月前まで電話又は来館にて受付
投 影 内 容	利用団体の希望、リクエスト基づき、事前に当館と打合せ・調整
利　用　料 （観　覧　料）	４５分間毎に１人６００円、中学生以下無料 例：１０：００～１１：２０（８０分利用）の場合 ⇒ 一般１，２００円/人 別途、障がい者、高齢者等の利用については利用料を減免
利 用 事 例	10 月 7 日（金）11:45～14:00 担当：内藤 団体名　ぽらぽら＆村上ユカ　参加者　46 人 内容　プラネタリウムで持込映像や音楽を流し、星空等の演出に合わせたコンサートを実施した。 12 月 23 日（金）11:45～14:00 担当：内藤 団体名　虹ノ輪　参加者　21 人 内容　クリスタルボウルとシンセサイザーを持ち込み、プラネタリウムの星空や宇宙の映像に合わせて演奏会を実施した。 3 月 24 日（金）13:00～13:45 担当：内藤 団体名　たんぽぽ会　参加者　29 人 内容　子育てサークルの利用。乳幼児向けの投影を実施した。

③　星空ゆうゆう散歩

元科学館職員の國司眞氏を講師に迎えたシニア向け投影を下記の通り実施した。

対　象　　中学生以上観覧可能　（8 月を除く毎月第 3 木曜日 13:30～　定員：200 名）

講　師　　國司眞氏

開催日	投影話題	内容	参加人数
4 月 21 日（木）	水星を見よう	水星の見え方、探査機による水星の観測	100
5 月 19 日（木）	春の大曲線	北斗七星、うしかい座等を詳しく解説	100
6 月 16 日（木）	梅雨のあとさきの星空	初夏の星空を天の川に沿って解説	100
7 月 14 日（木）	織姫と彦星・その後	ベガ、アルタイルの固有運動	70
9 月 15 日（木）	木星と衛星たち	木星の模様やガリレオ衛星の特徴	100
10 月 20 日（木）	月が隠したり隠されたり	月の満ち欠け、皆既月食、天王星食	100
11 月 17 日（木）	しし座流星群とふたご座流星群	流星群と母天体の関係	100
12 月 15 日（木）	夜空の星は生きている？	星の進化について	100
1 月 19 日（木）	生れた時の光	光の速さと星の距離	100
2 月 16 日（木）	カノープスを見つけよう	川崎や各地でのカノープスの見え方	100
3 月 16 日（木）	春分の星空	春分点の移動、歳差現象等	100

④　ベビー＆キッズアワー

未就園児とその保護者がともに楽しめる投影を計画したが、新型コロナウイルス感染症予防のため今年度は中止した。

⑤　プラネタリウム学習投影

小学校、中学校、高等学校を対象に学習指導要領に準拠した投影を、また、幼稚園、保育園を対象に「子ども向け投影」を行った。　（4 月を除く平日 3 回 10:00～、11:15～、13:00～）

学習投影内容

対象	投影内容
小学校 1・2 年生	季節ごとの星空物語
小学校 3 年生	星空と月の世界
小学校 4 年生	月の満ち欠け　星の動きや明るさ
小学校 5 年生	四季の星座
小学校 6 年生	太陽や月の表面　太陽の位置と月の形
中学生	地球の自転と公転　太陽系と恒星
高校生	惑星視運動　歳差

幼稚園・保育園児	5月	うさぎとロバの月りょこう
	6月～7月	たなばたものがたり
	8月～10月	おさかなぴーすけ、そらへいく
	11月～ 12月	うまれたときの光
	1月～ 2月	ももんがさんとおほしさまじゅーす
	3月	たぬきくん　はるのぼうけん

学習投影利用団体数

	団体数	利用者数
4 月	実施なし	
5 月	12	727
6 月	36	2,041
7 月	9	481
8 月	8	278
9 月	26	1,684
10 月	23	1,396
11 月	26	1,451
12 月	19	1,138
1 月	22	1,197
2 月	23	1,446
3 月	19	1,061
合計	223	12,900

学習投影実施状況

月	開始日	学校・団体名	学年
5 月	12 日(木)	仙川教会子どもの家（幼）	
		川崎めぐみ幼稚園	
	17 日(火)	川崎市立宮前小学校	4

		川崎めぐみ幼稚園	
		川崎市立宮前小学校	4
	24 日(火)	西三田幼稚園	
	25 日(水)	白鳥保育園	
	26 日(木)	川崎市立土橋小学校	4
		冨士見幼稚園	
		川崎市立土橋小学校	4
	31 日(火)	川崎市立金程小学校	4
		丸山幼稚園	
6 月	1 日(水)	川崎市立中央支援学校小学部稲田分教室	2~6
		健爽学園ゆりかご幼稚園	
	3 日(金)	町田市立町田第一小学校	4
		健爽学園ゆりかご幼稚園	
		町田市立町田第一小学校	4
	7 日(火)	川崎市立末長小学校	4
		たちばな幼稚園	
		川崎市立長尾小学校	4
	8 日(水)	川崎市立中央支援学校小学部稲田分教室	2~6
		川崎めぐみ幼稚園	
	9 日(木)	神奈川県立高津養護学校高等部	1
		有馬白百合幼稚園	
		川崎市立末長小学校	4
	10 日(金)	たちばな幼稚園	
	14 日(火)	神奈川県立鶴見養護学校高等部	2
		学校法人田園学園川崎たまがわ幼稚園	
		横浜市立竹山小学校	4
	21 日(火)	川崎市立菅小学校	4
		川崎たまがわ幼稚園	
		川崎市立菅小学校	4
	22 日(水)	川崎市立向小学校	4
		有馬白百合幼稚園	
	23 日(木)	河合塾学園ドルトンスクール東京（幼稚園）	
		宮崎台幼稚園	
		玉川幼稚園	
	24 日(金)	野川ほのぼの保育園	
		宮崎二葉幼稚園	
		グリーンフォレスト神木保育園	
	28 日(火)	洗足学園大学付属幼稚園	
		宮崎二葉幼稚園	
		川崎市立白幡台小学校	6
	29 日(水)	川崎市立真福寺小学校	4
		川崎若葉幼稚園	
	30 日(木)	川崎市立旭町小学校	4
		宮崎台幼稚園	
		バディスポーツ幼児園	
7 月	5 日(火)	神奈川県立麻生養護学校高等部	2
		桐光学園みどり幼稚園	
		川崎市立古市場小学校	4
	6 日(水)	元住吉おおぞら保育園	
		津田山幼稚園	
	12 日(火)	潮見台みどり幼稚園	
		潮見台みどり幼稚園	
		青山学院高等部	2
	13 日(水)	津田山幼稚園	
8 月	23 日(火)	保育園リエッタ	

		天才キッズクラブ新百合ヶ丘園	
	24 日(水)	美しが丘こどもの家	
	25 日(木)	鷗友学園女子　理科班（中高）	
		スカイクレストインターナショナルスクール(保育園)	
		くりの実保育園	
	26 日(金)	川崎市立井田小学校	4
		川崎市立井田小学校	4
9 月	6 日(火)	川崎市立東住吉小学校	4
		川崎青葉幼稚園	
		川崎市立東住吉小学校	4
	7 日(水)	川崎市立中野島小学校	4
		川崎市立中野島小学校	4
	8 日(木)	川崎市立坂戸小学校	4
		川崎市立坂戸小学校	4
	13 日(火)	川崎市立宮内小学校	6
		川崎市立宮内小学校	6
		川崎青葉幼稚園	
	14 日(水)	川崎市立西生田小学校	4
		川崎市立西生田小学校	4
	22 日(木)	川崎市立新作小学校	4
		アスク柿生保育園	
		川崎市立田島小学校	4
	27 日(火)	川崎市立古川小学校	3
		川崎市立古川小学校	3
		川崎市立古川小学校	3
	28 日(水)	川崎市立南菅小学校	4
		キンダーキッズインターナショナルスクールたまプラーザ	
	29 日(木)	川崎市立西菅小学校	4
		川崎市立百合丘小学校	4
		川崎市立百合丘小学校	4
	30 日(金)	川崎市立宮崎小学校	4
		川崎市立宮崎小学校	4
		川崎市立宮崎小学校	4
10 月	4 日(火)	川崎市立平間小学校	4
		川崎市立平間小学校	4
		横浜市立大門小学校	3
	5 日(水)	にじいろ保育園登戸	
		神奈川県立向の岡工業高等学校定時制	
	7 日(金)	川崎市立三田小学校	4
	13 日(木)	川崎市立生田小学校	4
		川崎市立下作延小学校	4
	18 日(火)	宿河原幼稚園	
		川崎市立栗木台小学校	4
		川崎市立栗木台小学校	4
	25 日(火)	川崎市立はるひ野小学校	4
		川崎市立はるひ野小学校	4
		狛江市立狛江第六小学校	4
	26 日(水)	川崎市立高津小学校	4
		川崎市立高津小学校	4
		川崎市立中学校連合文化祭	
	27 日(木)	川崎市立藤崎小学校	4
		川崎市立高津小学校	4
		川崎市立藤崎小学校	4
	28 日(金)	うぃず向ヶ丘遊園保育園	
		川崎市立中央支援学校中学部	1

		川崎市立浅田小学校	4
11 月	1 日(火)	西高津くさはな保育園	
		いずみ保育園	
		川崎市立新作小学校	6
	2 日(水)	西有馬おひさま保育園	
		神奈川県立麻生養護学校小学部	4
	8 日(火)	川崎市立御幸小学校	4
		川崎市立御幸小学校	4
		川崎市立西野川小学校	4
	9 日(水)	南いくた保育園	
	10 日(木)	登戸ゆりのき保育園	
		梶ヶ谷幼稚園	
		川崎市立殿町小学校	4
	15 日(火)	川崎市立下平間小学校	4
		川崎市総合教育センター教育相談センターゆうゆう広場	
		カリタス小学校	5
	22 日(火)	至誠館ゆりがおか保育園	
		太陽第一幼稚園	
		目黒日本大学幼稚園	
	25 日(金)	川崎市立片平小学校	4
		川崎市立真福寺小学校	3
		川崎市立片平小学校	4
	29 日(火)	川崎市立宿河原小学校	4
		川崎市立宿河原小学校	4
		川崎市立千代ヶ丘小学校	4
	30 日(水)	川崎市立稲田小学校	4
		川崎市立稲田小学校	4
12 月	2 日(金)	川崎市立西有馬小学校	4
		川崎市立南原小学校	6
		川崎市立西有馬小学校	4
	6 日(火)	横浜市立さつきが丘小学校	3
	7 日(水)	川崎市立白幡台小学校	4
		川崎市たちばな中央保育園	
	8 日(木)	川崎市立京町小学校	4
		梶ヶ谷幼稚園	
		川崎市立西御幸小学校	4
	13 日(火)	レッツ・び一梶ケ谷保育園	
		津田山幼稚園	
		晃華学園天文部	中 1～高 2
	14 日(水)	川崎市立東菅小学校	4
		アスク向ヶ丘遊園北保育園	
	20 日(火)	川崎市立富士見台小学校	6
		川崎市立富士見台小学校	6
	22 日(木)	川崎市立梶ヶ谷小学校	4
		川崎市立梶ヶ谷小学校	4
		川崎市立西丸子小学校	4
1 月	11 日(水)	らいらっく保育園	
		そらまめ保育園	
	12 日(木)	川崎市立聾学校小学部	4~6
		津田山幼稚園	
		川崎市立王禅寺中央小学校	3
	17 日(火)	川崎市立東生田小学校	4
		神奈川県立麻生養護学校高等部	1･2
		川崎市立東生田小学校	4
	24 日(火)	川崎市立大戸小学校	4

		川崎市立大戸小学校	4
		目黒区立下目黒小学校	3
	25 日(水)	川崎市立柿生小学校	4
		川崎市立柿生小学校	4
	26 日(木)	川崎市立南野川小学校	4
		神奈川県立高津養護学校小学部	3
		川崎市立東大島小学校	3
	27 日(金)	川崎市立南原小学校	4
		神奈川県立麻生養護学校高等部	1
		横浜市立荏田南小学校	3
	31 日(火)	神奈川県立高津養護学校中学部	1
		初山幼稚園	
		横浜市立藤が丘小学校	3
2 月	1 日(水)	横浜市立川和東小学校	3
		横浜市立川和東小学校	3
	3 日(金)	川崎市立南生田小学校	4
		川崎市立南生田小学校	4
		横浜市立もえぎ野小学校	3
	7 日(火)	神奈川県立麻生養護学校高等部	
		川崎市立千代ヶ丘小学校	6
	8 日(水)	川崎市立中央支援学校中等部	2
		桐光学園小学校	4
	9 日(木)	川崎市立久地小学校	6
		川崎市立久地小学校	6
		川崎市立玉川小学校	4
	14 日(火)	川崎市立久本小学校	6
		川崎市立久本小学校	6
		川崎市立玉川小学校	6
	21 日(火)	神奈川県立麻生養護学校中学部	3
		神奈川県立高津養護学校小学部	4
		小桜愛児園（保育園）	
	22 日(水)	川崎市立有馬小学校	4
		ももの里保育園	
	28 日(火)	川崎市立王禅寺中央小学校	6
		若竹幼稚園	
		川崎市立王禅寺中央小学校	6
3 月	1 日(水)	調布市適応教室太陽の子	
		つぼみ幼稚園	
	3 日(金)	川崎市立久本小学校	4
		川崎市立千代ヶ丘小学校	3
		川崎市立久本小学校	4
	7 日(火)	川崎市立東小倉小学校	3
		若竹幼稚園	
		川崎市立東小倉小学校	3
	8 日(水)	川崎市立上作延小学校	4
		川崎市立上作延小学校	4
	9 日(木)	川崎市立東小倉小学校	4
		川崎市立東小倉小学校	4
	14 日(火)	川崎市立向丘小学校	4
		川崎市立向丘小学校	4
		星の子愛児園	
	23 日(木)	けいわ会上小田中保育園	
		西しゅくマーノ保育園	
	24 日(金)	アスク向ヶ丘遊園南保育園	
		三田かしのみ保育園	

利用団体数：223 団体、利用者数：12,900 人 内訳：市立小学校 113・中学校 1、その他の小学校 14・中学校 0 高等学校 2、特別支援学校 16、幼・保育園 69、その他 8

⑥　天文関連展示

常設展示

壁面を利用して、太陽系の天体から銀河系、宇宙の構造等、宇宙の基礎的な内容について展示している。

特別展示

自然学習棟 1 階・プラネタリウムドーム入口横壁面を使用したパネル展や、2 階天文展示スペースに展示ケースを設置した展示を実施した。（観覧自由）

期間	内容
6 月 12 日～8 月 28 日	小惑星リュウグウのかけらを観察しよう！
10 月 8 日～11 月 27 日	オーロラ写真展

天文情報コーナー

自然学習棟 2 階のホワイトボードにおいて、毎月の月の満ち欠けや、川崎市内で観察できる天文現象についての情報を紹介するコラムを掲載し、1 か月に一度のペースで更新した。

企画展示「誕生 99 年 プラネタリウムのひみつ」

プラネタリウム誕生 99 年を記念し、プラネタリウムの仕組みや補助投影機、関連する資料等を実物と写真パネル等で紹介する企画展示を行った。

期間：7 月 23 日（土）～8 月 21 日（日）　延べ観覧者数　8,969 人

会場：学習室 1 、プラネタリウムドーム入口横壁面

観覧料：無料

特別展示「小惑星リュウグウのかけらを観察しよう」

オーロラ写真展

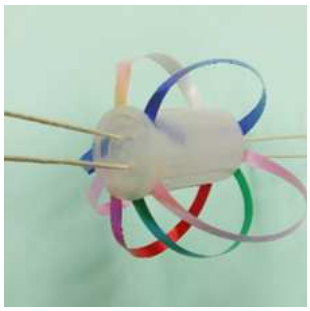
企画展示「誕生 99 年 プラネタリウムのひみつ」

（3）科学

①　常設展示

令和 2 年 6 月から科学分野の展示として、サイエンスワークショップや科学実験教室での工作物、活動する市民科学団体を紹介する常設展示コーナーを設置した。多摩区と連携した工作物の動く様子（動画）を来館者がスマートフォン等で視聴できる AR コンテンツ（拡張現実）を引き続き活用した。

風がなくても回る風車



シャボン玉ぶんぶんごま

ウサギダルマ

４　調査研究事業

（１）学芸員・職員等による調査研究

①　ムネアカハラビロカマキリ調査

生田緑地の外来生物調査として、外来種のムネアカハラビロカマキリと在来種のハラビロカマキリの生息状況を調査し、調査結果をまとめ、紀要第 33 号で公表した。採集圧による外来種カマキリの個体数抑制を検証するために、来年度も調査を継続し、データを蓄積する。

②　川崎市域の生物調査

市域の生物調査では、特定非営利活動法人かわさき自然調査団への委託事業として、生田緑地を中心に川崎市域に生息する動植物種の確認調査を実施し、これまでの採集状況を踏まえながら採集が可能な動植物については採集し、それらに適した方法により標本を作製した。また継続的なモニタリングが可能な分類群については、モニタリング調査を継続し、調査結果を報告書にまとめた。

③　川崎市域の星の見え方調査

夏季と冬季に写真撮影による星の見え方調査として、NPO 法人星空公団の協力により、撮影データから夜空の明るさを測定する星空診断を行った。また、より多くの市民が関心を持ち、参加できるよう夏季には肉眼による観察を行い 31 件のデータが集まった。職員と天文サポーターによる観測の他、インターネットを通じた市民参加により、市内複数箇所におけるデータ収集を実施した。

④　天体の観測

月食等の天文現象、惑星、太陽を観測した。皆既月食に関しては、インターネットを通じた市民参加により皆既中の月の色の調査を行い、200 件のデータが集まった。

⑤　気象観測

自然学習棟の玄関横に設置した気象観測装置を通年運用し、気温、気圧、風向、風力、降水量を連続観測した。気象情報は視覚化し展示室にリアルタイムで掲示し、観測データを保存するとともに、「青少年科学館紀要 33 号」に掲載した。

⑥　ワクワクドキドキ玉手箱の改良・新規開発

学校現場での授業活用をねらい、ワクワクドキドキ玉手箱のテーマ「№6 飛ぶもの」の中から、飛ぶタネの仕組みや種の保存、植物の多様性について体験を通じて学ぶキットのブラッシュアップを行った。9 月のサイエンスワークショップ、11 月の学校支援の場面にて改良した教材の試行、検証を行い、効果や課題については紀要第 33 号にまとめた。

（２）外部研究者の受入

堀内慈恵（神奈川県植物誌調査会）
　当館収蔵川崎市産植物標本の調査研究（2022 年 5 月 26 日、6 月 8 日、6 月 21 日、7 月 6 日、7 月 26 日、7 月 27 日、8 月 16 日、9 月 11 日、9 月 29 日、10 月 6 日、10 月 21 日、12 月 7 日、12 月 22 日、2023 年 1 月 17 日、1 月 20 日、2 月 21 日）

渡辺真由子（茅野市八ヶ岳総合博物館）
　当館収蔵天文資料の調査研究及び撮影（2022 年 10 月 13 日）

田中徳久（神奈川県立生命の星・地球博物館）
　当館収蔵川崎市産植物標本の調査研究（2023 年 3 月 17 日）

（３）生田緑地産ホトケドジョウ人工飼育・増殖

全国的にも激減し、神奈川県 RDB 2006 においても絶滅危惧 1B 類に指定されているホトケドジョウの、生田緑地産個体群の系統（遺伝子）保存のため、神奈川県水産技術センター内水面試験場（相模原市）に、人工飼育・増殖を委託し実施した。

（4）市域の生物調査および自然史資料（標本）収集・作製

市域の自然環境調査、主として生田緑地の動植物の生息状況把握のための実態調査を行うとともに、自然史資料の収集および標本化を行った。

担当職員　髙中健一郎　本郷智子

委 託 先　特定非営利活動法人かわさき自然調査団

植物班	調査・標本作製・同定・収蔵 標本整理等	國弘明子、佐藤登喜子、佐藤ミツ子、白澤光代、武久春美、 谷口紀美代、田渕まこと、富樫慶四郎、中澤明美、林美幸、 真船妙子、村井正蔵、吉田多美枝、吉留憲子
シダ植物班	調査・標本作製・収蔵標本 整理等	岩片紀美子、大貫はるみ、島津キク江、園田明子、田村成美、 長谷川和甫、林美幸
野鳥班	野外調査等	稲澤尚代、大橋毅、大森洋子、金井美智子、亀岡千佳子、 國司眞、佐々木麻子、佐々木和子、佐藤裕子、佐原千春、 佐野悦子、下條喜代子、瀧孔一郎、福田公子、細田健二、 細田理絵、水田茂子
昆虫班	調査・同定・収蔵標本整理等	池畑秀星、岩崎信一、佐野悦子、成田和子、雛倉正人、 平野敦士、三田村瞬、宮内隆夫、横田光邦、山本晃
水辺調査班	野外調査等	岩田芳美、藤間熙子、野口美年子

5　教育普及事業

おうちで楽しむデジタル科学館

子どもから大人まで利用者が家庭で楽しめるように、館ホームページに「おうちで楽しむデジタル科学館」を新型コロナウイルス感染拡大防止により不要不急の外出自粛が求められた状況下の令和 2 年度から開設した。デジタルコンテンツによる市民利用の向上をねらい、WEB 上で自然・天文・科学分野の情報を発信した。

①　おうちでまなぼう！生き物と自然（自然）

生田緑地に生息する生き物の標本写真を活用し、自宅で動物の体のつくりを学ぶコンテンツとして、「鳥の足」、「鳥のくちばし」計２つを新たに公開した。

②　おうちでプラネタリウム（天文）

プラネタリウムの星空を撮影し、天文担当職員による解説を加えて１０分程度の動画を作成した。「お月見」など計４本の動画を制作し、新たに公開した。

③　おうちでワークショップ（科学）

当館で活動する科学市民団体と協働で、家庭で簡単に楽しめる工作物として「2023 年度版　正 20 面体カレンダー」の材料のデータ（PDF）をホームページからダウンロードできるようにして新たに公開した。

（1）自然

①　生田緑地観察会

生田緑地を会場に、種子植物、シダ植物、野鳥、昆虫、地層などをテーマに、現地で見られた動植物や自然環境について講師が解説することで、参加者の興味関心を持つきっかけとなる観察会を実施した。

場　　所　　生田緑地

定　　員　　10～15 名

講　　師　　特定非営利活動法人かわさき自然調査団

担当職員　　髙中健一郎　服部隆博　　（定員 10～15 名　事前申込 参加費無料）

開催日	観察内容	講師（ガイド）	参加人数
4 月 3 日（日）	植物	かわさき自然調査団　植物班	雨天中止
4 月 24 日（日）	昆虫	かわさき自然調査団　昆虫班	雨天中止
5 月 1 日（日）	植物	かわさき自然調査団　植物班	7
5 月 15 日（日）	里山の自然	かわさき自然調査団　水田ビオトープ班	1
6 月 5 日（日）	植物	かわさき自然調査団　植物班	13
6 月 12 日（日）	シダ植物	かわさき自然調査団　シダ植物班	11
7 月 3 日（日）	植物	かわさき自然調査団　植物班	熱中症中止

7 月 10 日（日）	昆虫	かわさき自然調査団　昆虫班	熱中症中止
7 月 31 日（日）	地層	かわさき自然調査団　地学班	熱中症中止
9 月 4 日（日）	植物	かわさき自然調査団　植物班	13
9 月 11 日（日）	昆虫	かわさき自然調査団　昆虫班	12
9 月 18 日（日）	シダ植物	かわさき自然調査団　シダ植物班	雨天中止
10 月 2 日（日）	植物	かわさき自然調査団　植物班	13
10 月 23 日（日）	里山の自然	かわさき自然調査団　水田ビオトープ班	9
10 月 30 日（日）	地層	かわさき自然調査団　地学班	10
11 月 6 日（日）	植物	かわさき自然調査団　植物班	12
12 月 4 日（日）	植物	かわさき自然調査団　植物班	11
12 月 11 日（日）	冬の蛾	かわさき自然調査団　昆虫班	10
12 月 18 日（日）	野鳥	かわさき自然調査団　野鳥班	9
1 月 15 日（日）	野鳥	かわさき自然調査団　野鳥班	11
1 月 29 日（日）	地層	かわさき自然調査団　地学班	14
2 月 19 日（日）	野鳥	かわさき自然調査団　野鳥班	14
3 月 5 日（日）	植物	かわさき自然調査団　植物班	9
3 月 19 日（日）	野鳥	かわさき自然調査団　野鳥班	14
		計 18 回実施	193

②　サイエンス教室（自然）

来館者を対象に、動植物や自然環境に対する興味関心を深められるよう、座学と現地での観察、博物館資料を活用した内容等を実施する教室を開催した。

担当職員　　髙中健一郎　本郷智子　内藤　武　服部隆博　津田由美子

（定員 12～16 名、親子参加型は 8～12 組、事前申込 参加費 100 円）

開催日	内容	講師	対象	参加人数
7月27日（水）	連続講座全3回 生田緑地ってどんなところ？～地学を中心に～	髙橋　裕氏 （NPO法人教育活動総合サポートセンター）	小学生4～6年生とその保護者	14
7月28日（木）		野口昭三氏 （森を歩く会）		12
7月29日（金）		内藤　武		12
7月31日（日）	小さな小さな化石をさがそう	津田由美子	小学生4～6年生	16
9月23日（金・祝）	モグラってどんな生きもの？	髙中健一郎	小学生1～6年生とその保護者	18
2月12日（日）	バックヤードツアー	髙中健一郎	小学生1～6年生とその保護者	19
3月21日（火・祝）	関東ローム層をさぐろう	服部隆博	小学生4～6年生	11
			計7回実施	102

③　市域の生物調査成果発表会

川崎の自然の魅力を感じてもらう機会として、これまでに市民協働で実施してきた川崎市域の生物調査について、調査をしてきた市民が発表者となり成果を来館者に伝える成果発表会を開催した。

開催日	講師	対象	参加人数
3月26日（日）	特定非営利活動法人かわさき自然調査団	中学生以上	26
		計1回実施	26

④　地層観察

生田緑地に見られる「飯室層（泥岩層）」、「おし沼砂れき層」、「多摩ローム層」、「立川ローム層」および「飯室層・おし沼砂れき層間の不整合」といった露頭の観察をとおして、地層の成り立ちについて学習するプログラムを、主に小学 6 年生の理科授業の一環として行った。

また、教員の観察コースの事前下見・相談に対応するとともに、生田緑地に来て直接観察することが困難な学校向けに、地層の写真や子どもたちが触って体験できる地層サンプルをまとめた学習キットの貸出しを行い、市内学校 10 校の利用があった。

担当職員　髙中健一郎　杉浦孝弘　本郷智子　服部隆博　津田由美子

開催日	団体名	参加人数
6 月 28 日（火）	川崎市立白幡台小学校	52
9 月 13 日（火）	川崎市立宮内小学校	152
9 月 30 日（金）	川崎市立犬蔵小学校	169
10 月 4 日（火）	川崎市立宿河原小学校	132
10 月 4 日（火）	川崎市立南菅小学校	43
10 月 14 日（金）	川崎市立稲田小学校	127
10 月 21 日（金）	川崎市立東菅小学校	89
11 月 1 日（火）	川崎市立新作小学校	69
11 月 8 日（火）	カリタス女子中学校	194
11 月 22 日（火）	川崎市立新城小学校	113
11 月 22 日（火）	横浜市立大網小学校	157
11 月 25 日（金）	川崎市立中野島小学校	124
11 月 29 日（火）	川崎市立虹ヶ丘小学校	24
12 月 2 日（金）	川崎市立南原小学校	30
12 月 6 日（火）	川崎市立向丘小学校	105
12 月 9 日（金）	川崎市立百合丘小学校	159
12 月 16 日（金）	川崎市立三田小学校	109
12 月 20 日（火）	川崎市立富士見台小学校	189
1 月 13 日（金）	川崎市立南生田小学校	175
1 月 13 日（金）	川崎市立梶ヶ谷小学校	147
1 月 17 日（火）	川崎市立末長小学校	207
2 月 7 日（火）	川崎市立千代ヶ丘小学校	78
2 月 14 日（火）	川崎市立玉川小学校	75
2 月 14 日（火）	川崎市立久本小学校	152

2 月 17 日（金）	川崎市立生田小学校	81
2 月 21 日（火）	川崎市立大戸小学校	131
2 月 28 日（火）	川崎市立王禅寺中央小学校	91
3 月 7 日（火）	桐光学園小学校	65
合計	計 34 回実施　利用校数 28 校	3,239

他にも教育委員会、大学などの要請により、生田緑地において見られる地層の解説を行った。

開催日	大学名	参加人数
7 月 21 日（木）	大田区教育委員会（小中学生団体利用）	17
9 月 25 日（日）	専修大学ネットワーク情報学部ネットワーク情報学科	38
	計 2 回実施	55

⑤　林の観察

生田緑地の樹林における季節ごとの動植物の観察を、
理科の学習の一環として行った。

担当職員　髙中健一郎　杉浦孝弘　本郷智子　服部隆博　津田由美子

開催日	学校名	参加人数
7 月 1 日（金）	大田区立大森第一小学校（5 年）	96
10 月 14 日（金）	森村学園初等部（3 年）	112
11 月 15 日（火）	川崎市適応指導教室（ゆうゆう広場）	25
11 月 29 日（火）	川崎市立千代ヶ丘小学校（4 年）	67
2 月 17 日（金）	川崎市立土橋小学校（3 年）	169
合計	計 5 団体実施	469

⑥　総合的な学習の時間における学習支援

生田緑地の自然をテーマに、総合的な学習の時間として課題解決学習の支援を行った。

担当職員　髙中健一郎　杉浦孝弘　本郷智子　服部隆博　津田由美子

開催日	学校名	参加人数
6 月 14 日（火）	川崎市立登戸小学校（3 年）	112
合計	計 1 回実施	112

（2）天文

①　星を見る夕べ

星を身近に感じ親しむことを目的として、夜間の天体観望会を月 2 回程度開催した。

はじめに約 30 分間、プラネタリウムで星座の位置や探し方を紹介した後、天体観測室（アストロテラス）で天体望遠鏡を使った月・惑星・星雲・星団・二重星の観望を行った。

望遠鏡での観察時は接触感染予防のため、参加者個々に保護用具を使っていただいた。

また、開催時に雨、曇天等で観察ができない場合は、プラネタリウムでの解説に加え、プラネタリウム内で双眼鏡を使った観察体験を実施した。

担当職員　　弘田澄人　内藤武　田中里佳　村上ひろ子　三浦飛未来

開催日	観望天体	参加人数
4月 9日（土）	月、りょうけん座α（コルカロリ）	29
4月23日（土）	おおぐま座ζ（ミザール）、ふたご座α（カストル）	38
5月 7日（土）	月、おおぐま座ζ（ミザール）	34
5月21日（土）	天候不良のため解説のみ実施	37
6月11日（土）	天候不良のため解説のみ実施	34
6月25日（土）	りょうけん座α（コルカロリ）、しし座γ（アルギエバ）	42
7月 9日（土）	天候不良のため解説のみ実施	49

7月23日（土）	こと座α（ベガ）、こと座ε（ダブルダブルスター）等	42
8月 6日（土）	天候不良のため解説のみ実施	39
8月13日（土）	台風接近のため来場者なし	0
8月20日（土）	天候不良のため解説のみ実施	28
8月27日（土）	土星、はくちょう座β（アルビレオ）	37
9月 3日（土）	月、土星	39
9月17日（土）	こと座α（ベガ）	33
10月 1日（土）	月、土星	49
10月22日（土）	天候不良のため解説のみ実施	43
11月 5日（土）	天候不良のため解説のみ実施	43
11月19日（土）	天候不良のため解説のみ実施	49
12月17日（土）	天候不良のため解説のみ実施	18
12月24日（土）	火星、M45（すばる）	39
1月14日（土）	天候不良のため解説のみ実施	23
1月28日（土）	月、おおいぬ座α（シリウス）	39
2月11日（土）	天候不良のため解説のみ実施	43
2月25日（土）	天候不良のため解説のみ実施	34
3月11日（土）	おおいぬ座α（シリウス）、M45（すばる）	45
3月25日（土）	天候不良のため解説のみ実施	20
	計 26 回実施　合計	926

②　出前教室（かわさき星空ウォッチング）

学校や地域団体等の依頼により、移動天文車（アストロカー）で科学館の望遠鏡や双眼鏡を会場に運び、楽しみながら夜空の星座や月・惑星などを観察する機会を提供した。（事前申込　無料）

担当職員　　弘田澄人　杉浦孝弘　内藤武　田中里佳　村上ひろ子　三浦飛未来

開催日	主催団体（会場）	参加人数
8 月 24 日(水)	韋駄天カフェ　（川崎市立東生田小学校）	中止
9 月 8 日(木)	NPO 法人 W.C. キャンディ　（大塚会館）	中止
10 月 7 日(金)	麻生子ども文化センター　（麻生子ども文化センター）	40
10 月 18 日(火)	川崎市立はるひ野中学校地域教育会議　（川崎市立はるひ野小中学校）	304
10 月 21 日(金)	川崎市立旭町小学校 PTA　（川崎市立旭町小学校）	140
11 月 1 日(火)	川崎市立東門前小学校 PTA　（川崎市立東門前小学校）	113
11 月 11 日(金)	田島地区青少年指導員会　（川崎市立渡田小学校）	300
12 月 2 日(金)	川崎市立西菅小学校 PTA　（川崎市立西菅小学校）	135
12 月 9 日(金)	川崎市立真福寺小学校 PTA　（川崎市立真福寺小学校）	83
12 月 14 日(水)	韋駄天カフェ　（川崎市立東生田小学校）	156
12 月 20 日(火)	川崎市立野川小学校　（川崎市立野川小学校）	50
1 月 13 日(金)	川崎市立田島小学校 PTA　（川崎市立田島小学校）	130
1 月 31 日(火)	洗足学園小学校　（洗足学園小学校）	200
2 月 3 日(金)	環境局地域環境共創課　（川崎キングスカイフロント東急 REI ホテル）	34
2 月 9 日(木)	寺子屋みやうち・なかはら　（川崎市立宮内小学校）	160
2 月 16 日(木)	麻生子ども文化センター　（麻生子ども文化センター）	50
2 月 22 日(水)	高津第三地区社会福祉協議会　（川崎市立東高津小学校）	200

3月 3日(金)	NPO 法人 W.C. キャンディ　（大塚会館）	30
3月 7日(火)	川崎市立岡上小学校　（川崎市立岡上小学校）	78
開催要請 19 回, ｱｽﾄﾛｶｰ出動 16 回, 天候不良中止 2 回。　参加合計：1,685		

星空ウオッチング（渡田小学校）

③　天文サポーター

－1　天文サポーター定例会

「星を見る夕べ」等の観察会の開催運営と天文サポーターの資質向上のため、定例会を毎月実施した。主に「星を見る夕べ」参加者に配布する資料の作成、自主ゼミ、天体観測の実習による研修を行った。

担当職員　　弘田澄人　内藤武　田中里佳　村上ひろ子　三浦飛未来
12 回実施、のべ 77 人参加

－2　天文サポーター研修会

「星を見る夕べ」等の天文事業を協働する天文サポーターや、地域の天文指導者となるボランティア育成を目的とした研修会を実施した。

対　　象：　18 歳以上（高校生を除く）
受 講 生：　8 名
講　　師：　人見雅子氏（公益財団法人かわさき市民活動センター）　館職員
担当職員：　弘田澄人　内藤武　　（定員 10 名　事前申込　参加費 400 円）

開講日	内　　容	参加人数
2月18日（土）	ボランティアについて	8
2月25日（土）	天文学の基礎	9
3月11日（土）	望遠鏡操作実習	9
3月25日（土）	修了式、天文サポーターの活動について	8
	連続 4 回　　合計	34

④　サイエンス教室（天文）

天体観察等を通して星空や天文学への関心を深めるための教室を実施した。

事前申込 参加費 100 円

開催日	内容	講師	対象	参加人数
5月 8日（日）	月面X	田中里佳	15 歳以上	5
6月 4日（土）	都会で楽しむ天文学	塩入樹実（科学館天文クラブ）	15 歳以上	8
8月 5日（金）	日時計を作ろう	村上ひろ子	小学 1～6 年生	7
8月 7日（日）	プラネタリウム　バックヤードツアー	弘田澄人	15 歳以上	9
8月19日（日）	プラネタリウム　バックヤードツアー	内藤武	小学 4～中学生	8
9月19日（月）	太陽と季節	田中里佳	小学 4～6 年生	5
10月10日（月）	太陽と昼間の星	田中里佳	小学 3～6 年生	8
12月 3日（土）	惑星を見よう	三浦飛未来	小学 3～中学生	8
3月 4日（土）	ミニ望遠鏡を作ろう	倉橋清紀（科学館天文サポーター）	小学 4～中学生	10

サイエンス教室
「都会で楽しむ天文学」

サイエンス教室
「日時計を作ろう」

サイエンス教室
「プラネタリウムバックヤードツアー」

⑤　プラネタリウムでのイベント

プラネタリウムの星空の下で音楽を楽しむコンサートや、ドームスクリーンと投影設備を活用した映像イベントを実施した。

定員：コンサート 90 名（90 分　観覧料 1,410 円）
　　オーロラ 70 名×3 回
　　（一般向け 60 分　観覧料 1,000 円／子ども向け 45 分　観覧料一般 500 円　中学生以下無料）

開催日	内容：タイトル	出演者	参加人数
10月28日（金） 29日（土）	オーロラ特別上映会 「ダイナミック！オーロラ爆発をプラネタリウムで体験」	オーロラメッセンジャー 中垣哲也	180
12月11日（土）	プラネタリウムコンサート 「星降る夜のコンサート」	蟹江慶行 （東京交響楽団チェロ奏者） 谷合千文（ピアノ）	77

オーロラ特別上映会

プラネタリウムコンサート

⑥　天文講演会

開催日	内容：タイトル	講師	参加人数
11月26日（土）	天文講演会 「宇宙の『ちり粒』が放つ微かな光をハワイ・すばる望遠鏡から望む」	藤原英明（東北大学）	63

⑦　アストロテラス公開

－1　アストロテラス一般公開

自然学習棟 3 階のアストロテラスにて、平日の昼間、モニター上での太陽観察を行った。
天候不良時及び熱中症危険レベルの場合は中止とした。

（参加自由　無料）

公開日	時間	観察する天体
平日（休館日を除く）	14:00～14:45 （7,8 月は 15:45～16:15）	太陽（白色光、Hα光）

－２　昼間の星を見る会

アストロテラスにて、昼間、20cm 望遠鏡と太陽望遠鏡を使い、明るい恒星や惑星と太陽の観察会を、整理券配布、時間指定による入替制で行った。

天候不良時は中止とした。

定員　各回 30 人

開催日	観望天体	参加人数
1月29日（日）	午前：こと座α、太陽　午後：こと座α、太陽	55
2月12日（日）	午前：中止　午後：金星、太陽	31
2月26日（日）	午前：こと座α、太陽　午後：金星、太陽	54
3月 5日（日）	中止	
3月19日（日）	中止	

⑧　プラネタリウムワークショップ

プラネタリウムや宇宙に興味を持つ子どもたちが参加し、プラネタリウムの番組を制作し、発表する教室を実施した。

対　　象　　小学 4～6 年生

講　　師　　田中里佳　（定員 12 名　事前申込　参加費無料）

	開催日	講座内容
第 1 回	5 月 29 日（日）	開講式、オリエンテーション
第 2 回	6 月 19 日（日）	プラネタリウムってなんだろう？
第 3 回	7 月 24 日（日）	プラネタリウムの仕組みを知ろう
第 4 回	9 月 4 日（日）	プラネタリウムを動かしてみよう
第 5 回	9 月 25 日（日）	どんな話をしたいか考えよう
第 6 回	10 月 30 日（日）	シナリオを作ろう
第 7 回	11 月 27 日（日）	シナリオを作ろう
第 8 回	12 月 18 日（日）	練習をしよう
第 9 回	1 月 22 日（日）	練習をしよう
第 10 回	2 月 5 日（日）	練習をしよう
第 11 回	2 月 19 日（日）	リハーサルをしよう
第 12 回	3 月 5 日（日）	発表会

⑨　市民プラネタリウム発表会

市民団体かわさきプラネタリウム同好会が番組制作、操作、解説を行うプラネタリウム投影を実施した。

開催日	時間	内容	参加人数
7 月 16 日(土)	16:10～16:50	「歴史に残る星空」	67
3 月 18 日(土)	16:10～16:50	「極北の星空とオーロラ」	71

プラネタリウムワークショップ

市民プラネタリウム発表会

（３）科学

①　サイエンス教室（科学）

自然、天文、科学の各分野のテーマを前面に伝えることで、市民に分かりやすく選択しやすくなるように広報の効率化を図った。令和 4 年度は科学教育分野として 34 回を実施した。

（定員 12～20 名　事前申込　参加費 100 円　10/23、12/11 の大人向け教室は 600 円）

開催日	内容	講師	対象	参加人数
4 月 9 日（土）	水でオルゴールが鳴った!!燃料電池実験	かわさきアトム工房	小学 3～6 年生	10
5 月 7 日（土）	海の生き物と SDGs～小さな	NPO 法人 科学実験教	小学 3～6 年生	9

	生き物を観察しよう～	室サポーター・くじら		
5月14日（土）	ヘッドホンを作ろう～スピーカーのしくみ～	かわさきアトム工房	小学3～6年生	11
5月29日（日）	あがれ！噴水～親子で作ろうヘロンの噴水～	トラボクラブ	小学1・2年生	16
6月4日（土）	スライムってなんだ？～お気に入りのスライムを作ろう～	NPO法人 科学実験教室サポーター・くじら	小学3～6年生	11
6月11日（土）	針金とんぼモビールをつくろう！	かわさきアトム工房	小学3～6年生	10
7月2日（土）	ゴムの科学	NPO法人 科学実験教室サポーター・くじら	小学3～6年生	9
7月9日（土）	回り灯ろうを作ろう	かわさきアトム工房	小学1～6年生	13
7月17日（日）	くるくる磁石　磁石を動かそう	科学サポーター研修生	小学1・2年生	20
7月30日（土）	水のふしぎなちから	館職員	小学1～3年生	14
7月31日（日）	小さな小さな化石をさがそう	館職員	小学4～6年生	16
8月13日（土）	光る星座絵のミニプラネタリウムを作ろう	かわさきアトム工房	小学1～6年生	11
9月3日（土）	音の正体を探ろう～音のいろいろ実験～	NPO法人 科学実験教室サポーター・くじら	小学3～6年生	10
9月10日（土）	水の表面	かわさきアトム工房	小学1・2年生	14
10月1日（土）	ニュートンのレール	NPO法人 科学実験教室サポーター・くじら	小学3～6年生	8
10月 2日（日）	親子で楽しむ！「３Ｄメガネで飛び出す絵」	トラボクラブ	小学1・2年生	16
10月8日（土）	海の中の小さな生きもの（チリモン）を探ろう！	かわさきアトム工房	小学1～6年生	14
10月11日（火）	まるい缶詰を斜面で転がしてみよう！（かわさき家庭と地域の日）	かわさきアトム工房	小学1～6年生	7
10月16日（日）	ロボットプログラミング教室	チーム・コスモス	小学4～6年生	10
10月23日（日）	リードスイッチモーターを応用したアニメーション装置を作ろう	トラボクラブ	15歳以上（中学生除く）	6
11月5日（土）	光の実験～光の屈折を体験しよう～	NPO法人 科学実験教室サポーター・くじら	小学3～6年生	9
11月12日（土）	高速プロペラカーを作ろう	かわさきアトム工房	小学1～6年生	11
11月20日（日）	手作りアニメーション	館職員	小学3～6年生	9
12月3日（土）	飛行機の科学	NPO法人 科学実験教室サポーター・くじら	小学3～6年生	10
12月10日（土）	卓上クリスマスツリー	かわさきアトム工房	小学1～6年生	8
12月11日（日）	人口イクラと超吸水性ポリマー	サイエンス・ちゃれんじ・チーム	15歳以上（中学生除く）	9
1月7日（土）	化学でいろ色に染めてみよう	NPO法人 科学実験教室サポーター・くじら	小学3～6年生	10
1月14日（土）	ピンホールカメラを作ってみよう	かわさきアトム工房	小学1～6年生	11
1月29日（日）	きみは何色ですか？	トラボクラブ	小学1・2年生	10
2月4日（土）	磁石、電磁石の不思議～モーターのしくみを学ぼう～	NPO法人 科学実験教室サポーター・くじら	小学3～6年生	11
2月11日（土・祝）	カライドサイクルを作ろう	かわさきアトム工房	小学1～6年生	13
3月4日（土）	一方向にしか進まないもの	NPO法人 科学実験教室サポーター・くじら	小学3～6年生	8
3月11日（土）	カリンバをつくろう	かわさきアトム工房	小学1～6年生	7
3月12日（日）	ロボットプログラミング教室	チーム・コスモス	小学4～6年生	14
			34回実施　計	375

10 月のサイエンス教室の様子
（左から､10/2 親子参加型教室　　10/16 ロボットプログラミング教室　　10/23 大人向け科学実験教室）

②　サイエンスワークショップ

－1　サイエンスワークショップ

8/27 開催「シャボン玉ぶんぶんごま」

1 回 15～20 分程度でできる工作・実験等の体験学習事業。令和 2･3 年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会場となる学習室を広く設定し、整理券による完全入替制にて開催した。

講　　師：　かわさきアトム工房、トラボクラブ、NPO 法人科学実験教室サポーター・くじら、
　　サイエンス・ちゃれんじ・チーム、チーム・コスモス、科学館職員
担当職員：　髙中健一郎　杉浦孝弘　本郷智子　服部隆博　津田由美子　　（参加自由　無料）

開催日	内　容	参加人数
4 月 2 日（土）	タンポポのひみつを調べてみよう（自然分野）	27
4 月 9 日（土）	ミラーシートであそぼう	32
4 月 16 日（土）	DNA ストラップをつくろう！～ものづくりの設計図『DNA』～	27
4 月 23 日（土）	動くカードを作ろう　～モアレ模様～	26
4 月 29 日（金・祝）	風がなくても回る風車	27
4 月 30 日（土）	リング飛行機を飛ばそう	42
5 月 1 日（日）	変身カード	50
5 月 2 日（月）	紙のグライダー	18
5 月 3 日（火・祝）	Ｘジャイロ	44
5 月 4 日（水・祝）	傘袋ロケット	46
5 月 5 日（木・祝）	玉乗りピエロ	39
5 月 7 日（土）	生田緑地の地面の下は？（自然分野）	23
5 月 14 日（土）	おどる起き上がりこぼし	27
5 月 21 日（土）	スイスイ走る船	23
5 月 28 日（土）	六角返し	37
6 月 4 日（土）	ダンゴムシとワラジムシ（自然分野）	40
6 月 11 日（土）	おり姫とひこ星がお月見に変るカード	34
6 月 18 日（土）	紙と水であそぼう！	37
6 月 25 日（土）	New くるくるくらげ	31
7 月 2 日（土）	短冊ゆらゆら	35
7 月 9 日（土）	割ばさみシューティングを作ろう	37
7 月 16 日（土）	コツコツきつつきのおもちゃを作ろう	32
7 月 18 日（月・祝）	ヨーヨー風車	47
7 月 23 日（土）	星座早見盤を作って星空の観察をしよう	35
7 月 30 日（土）	空気砲を作ろう	33
8 月 11 日（土）	セミのぬけがらをしらべてみよう（自然分野）	42
8 月 13 日（土）	ふしぎな部屋を作ろう	23
8 月 20 日（土）	夏・キツツキのひびき	42
8 月 27 日（土）	シャボン玉ぶんぶんごま	46
8 月 28 日（日）	くるくる磁石	56

9月3日（土）	タネをさぐろう（自然分野）	37
9月10日（土）	わっかコロコロ　あしパタパタ	39
9月17日（土）	ストロー紙ヒコーキを飛ばそう	52
9月19日（月・祝）	ISS宇宙ステーションのロボットハンドを作ろう！	33
9月23日（金・祝）	色変わりＣＤコマを作ろう	39
9月24日（土）	キツツキのドラミング	35
10月1日（土）	ドングリを調べてみよう（自然分野）	21
10月8日（土）	トリックアート　不思議な箱	34
10月11日（火）	くっつくタネのふしぎ（自然分野）	31
10月15日（土）	水に浮くアメンボを作ろう	41
10月22日（土）	輪ゴムを使った“おもちゃ”をつくろう！	34
10月29日（土）	カラクリ折り紙六角返しを作ろう	38
11月5日（土）	色づく葉っぱを調べてみよう（自然分野）	24
11月12日（土）	手作りギターをえんそうしよう！	43
11月19日（土）	おにぎりころりん	27
11月23日（水・祝）	２連団子ブンブンこまを回そう！	47
11月26日（土）	ふうせんロケットを作ろう	24
12月3日（土）	立体クリスマスカード	34
12月10日（土）	ＵＦＯ～ゴムの力でまわして飛ばそう～	33
12月17日（土）	光ファイバーであそぼう！	23
12月24日（土）	ストローグライダーをつくり、飛ばそう	18
1月7日（土）	令和５年卯年　動くウサギを作ってみよう	37
1月9日（月・祝）	ウサギダルマを作ろう	46
1月14日（土）	くるくるマグネットで遊ぼう	32
1月21日（土）	この指とまれバランストンボ	36
1月28日（土）	パタパタをつくろう	33
2月4日（土）	見えない力を使ってあそんでみよう	38
2月11日（土）	不思議なひもモンスター	41
2月18日（土）	ゴムであそぼう	38
2月25日（土）	ガリガリプロペラを作ろう	30
3月4日（土）	スミレを調べてみよう（自然分野）	23
3月11日（土）	ホバークラフトをつくろう	38
3月18日（土）	立体メガネを作って3D画像を観よう	23
3月25日（土）	スライムを作って遊ぼう	29
	64回実施　合計	2,249

－２　サイエンスショー

来館者の科学に関する興味・関心を深めることを目的としたサイエンスショー（科学実験ショー）を開催した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各回定員30名の整理券方式で午前・午後に実施した（写真右は11月開催時）。

なお、11･2月開催のサイエンスショーは、サイエンスワークショップの事業に含めている。

講　　師：　飯塚真喜子 氏（トラボクラブ）

担当職員：　杉浦孝弘　　（定員各回30名　参加自由　無料）

開催日	内　容	参加人数
令和4年 11月3日（木・祝）	紙の変身　（午前の部）	30
	〃　（午後の部）	30
令和5年 2月23日（木・祝）	おっとっと。バランス・つりあい　（午前の部）	30
	〃　（午後の部）	30
	計4回実施　合計	120

③　子ども創意くふう教室

子どもの創造性を伸ばすことを目的に、一人ひとりが作りながら考えるものづくり体験学習教室として連続 5 回実施した。

対　　象：　小学 3 年生～中学生
講　　師：　髙橋裕氏（NPO 法人教育活動総合サポートセンター）
担当職員：　本郷智子　服部隆博

（定員 16 名　事前申込　参加費 500 円）

開催日	内　　容	参加人数
12月 4日（日）	パズルでくふう	13
12月11日（日）	鏡でくふう	12
12月18日（日）	カードでくふう	12
1月 8日（日）	磁石でくふう	9
1月22日（日）	自らくふうしてみよう	12
	計 5 回実施　合計	58

※5 回の連続講座として、参加者を一括募集にて実施した。

④　出前科学実験教室

市内の学校団体や地域団体から依頼を受けて、業務委託先である科学市民団体から講師を派遣することで、実験キット「ワクワクドキドキ玉手箱」を使った出前実験教室を開催した。

講　　師：　かわさきアトム工房　　担当職員：　杉浦孝弘　津田由美子

開催日	実施団体	内容	参加人数
6 月 4 日（土）	川崎市立三田小学校「みた・まちもり寺子屋」	ドライアイスで遊ぼう	36
6 月 18 日（土）	寺子屋たかつ	色変わり実験	40
7 月 13 日（水）	YUME School 川崎校	錯視	9
7 月 14 日（木）	川崎市立下沼部小学校科学クラブ	マジックショー	38
7 月 19 日（火）	川崎市立はるひ野小学校科学クラブ	超低温	49
7 月 28 日（木）	よつばクラブ元住吉　1 年生	磁石	42
7 月 29 日（金）	よつばクラブ元住吉　2 年生	磁石	30
8 月 3 日（水）	よつばクラブ元住吉　3 年生～	パタパタ工作	20
8 月 8 日（月）	川崎市立千代ヶ丘小学校わくわくプラザ	木登りてんとう虫	42
8 月 19 日（金）	川崎市立百合丘小学校 寺子屋ゆりっ子	モーター	20
8 月 22 日（月）	はなまる塾	磁石	12
9 月 12 日（月）	川崎市立百合丘小学校理科実験クラブ	科学捜査官	11
9 月 17 日（土）	宮前区子ども会連合会宮前支部	ドライアイスで遊ぼう	23
9 月 19 日（月）	かたひらほっとカフェ（麻生市民館）	飛ぶ種の不思議	45
10 月 5 日（水）	YUME School 川崎校	もしも原子が見えたなら	9
10 月 16 日（日）	寺子屋のぼりと	星座絵プラネタリウム	31
10 月 22 日（土）	川崎市立川中島中学校　ふれあい体験講座①	超低温（1 回目）	28
10 月 22 日（土）	川崎市立川中島中学校　ふれあい体験講座①	超低温（2 回目）	27
10 月 22 日（土）	川崎市立川中島中学校　ふれあい体験講座②	トリックアート（1 回目）	23
10 月 22 日（土）	川崎市立川中島中学校　ふれあい体験講座②	トリックアート（2 回目）	22
10 月 24 日（月）	川崎市立下沼部小学校科学クラブ	虹を作ろう	36
10 月 24 日（月）	川崎市立百合丘小学校理科実験クラブ	ちりめんモンスターをさがそう	11
11 月 6 日（日）	タワー＆パークス田園都市溝の口　自治会	わっかコロコロあしパタパタ	28
11 月 8 日（火）	川崎市立坂戸小学校理科クラブ	虹をつくろう	21
11 月 8 日（火）	川崎市立向ヶ丘小学校科学クラブ	超低温の世界	43
11 月 14 日（月）	川崎市立はるひ野小学校　科学実験クラブ	君も科学捜査官	31
11 月 19 日（土）	川崎市立下作延小学校	ぶんぶんゼミ（1 回目）	41
11 月 19 日（土）	川崎市立下作延小学校	ぶんぶんゼミ（2 回目）	32
11 月 23 日（水）	川崎市立西高津中学校	ゾートロープをつくろう	27
12 月 3 日（土）	川崎市立百合丘小学校 寺子屋ゆりっ子	重心で遊ぼう	26
12 月 22 日（木）	川崎市中学校理科初任者研修	モーター	10
12 月 22 日（木）	川崎市中学校理科初任者研修	音	10
1 月 23 日（月）	川崎市立百合丘小学校理科実験クラブ	ドライアイスの不思議	10
2 月 2 日（木）	YUME School 川崎校	虹を見つけよう	12
2 月 15 日（水）	川崎市立日吉小学校科学クラブ	科学マジックショー	37
2 月 19 日（日）	片平子ども会	色の実験（1 回目）	30

2 月 19 日（日）	片平子ども会	色の実験（２回目）	29
		22 団体　37 回実施	991

⑤　かわさきサイエンスチャレンジ「科学と遊ぼう！ワクワクドキドキ玉手箱」

子どもたちが科学の面白さや楽しさを体験できる機会を増やすため、かわさきサイエンスチャレンジ運営委員会が主催する科学の祭典「かわさきサイエンスチャレンジ」において、「科学とあそぼう！ワクワクドキドキ玉手箱」を、令和元年度以来、3 年ぶりに開催した。事前申込制によるワークショップを令和 4 年 8 月 6･7 日（土・日）の 2 日間にて開催した。

開催場所：かながわサイエンスパーク（KSP）川崎市高津区坂戸 3-2-1
（各回定員 6 名　1 ブース 1 日最大 24 名　事前申込　参加費無料）

タイトル	講師（団体）	参加人数	
		6 日	7 日
コマ～神奈川を回してみよう～	かわさきアトム工房	14	17
バネのパワー～バネっておもしろい～	NPO 法人科学実験教室サポーター・くじら	16	20
コロナ変異?!?!のなぞを解明し､DNA ストラップをつくろう！	トラボクラブ	16	19
ギシギシプロペラを作って振動と波の勉強をしよう	蔵前理科教室ふしぎ不思議	20	18
見えない力～層になる液体のふしぎ～	明治大学生田ボランティアセンター	21	18
光り輝く万華鏡を作ろう	サイエンス・ちゃれんじ・チーム	21	17
衝突のふしぎ～ニュートンのゆりかごを作ろう～	科学館職員	17	－
モーターで音楽を聴こう	チーム・コスモス	－	16
	2 日間　合計	250	

⑥　科学サポーター研修会

市民を対象として､子どもたちに科学の楽しさを伝えることのできる指導者を育成するための講座（全 6 回）を開講した。研修受講者は、館内イベント（サイエンス教室・サイエンスワークショップ）において科学実験の実演を行った。

対　　象：　18 歳以上（高校生不可）
受 講 生：　7 名（うち修了生 6 名）
講　　師：　由良文隆氏　丹羽恵美氏　長沼葉子氏（講師 3 名かわさきアトム工房）　館職員
担当職員：　杉浦孝弘　本郷智子　　（定員 12 名　事前申込　参加費 500 円）

開講日	内　　容	参加人数
7月3日（日）	ガイダンス、ワクワクドキドキ玉手箱実験紹介①、実験と安全について、実験教室の運営について	7
7月10日（日）	ワクワクドキドキ玉手箱実験紹介②、テーマを大切にした実験教室の実際、7 月 18 日の実験教室のプログラム作成	7
7月17日（日）	実験教室アシスタントの実践、実験教室の反省とサイエンスワークショップの実施準備	7 20※1
8月21日（日）	サイエンスワークショップに向けての工作・実演準備	5
8月28日（日）	科学サポーター研修生によるサイエンスワークショップ開催	6 56※2
9月10日（土）	修了式、地域での活動について	5
	連続 6 回　　合計	37

※1　サイエンス教室「くるくる磁石　磁石を動かそう」を開催し、科学教室アシスタントとしての実践を行った。小学生親子 20 名の参加があった。
※2　科学サポーター受講生によるサイエンスワークショップを開催し、56 名が利用した。

⑦　出前教室

科学館職員が、実施団体から依頼を受けて自然、天文、科学に関する題材をテーマに出前教室を行う。

開催日	実施団体	内容	担当	参加人数
11 月 10 日（木）	かわさき市民アカデミー	環境とみどりワークショップ	髙中健一郎	19
11 月 11 日（金）	神奈川県立多摩高等学校	天文学芸員について	弘田澄人	32
11 月 18 日（金）	川崎市立南生田中学校	生物多様性について	髙中健一郎	24
			3 団体　3 回実施合計	75

⑧　ゆうゆう広場科学実験教室

川崎市適応指導教室（ゆうゆう広場）からの依頼を受けて、「ワクワクドキドキ玉手箱」などを使った科学実験教室や出前科学実験教室を行った。

講　　師：　由良文隆 氏（かわさきアトム工房）　担当職員：　杉浦孝弘

開催日	実施団体	会　　場	内　　容	参加人数
5月18日（水）	ゆうゆう広場・みゆき	青少年科学館	表面張力	3
5月25日（水）	ゆうゆう広場・さいわい		表面張力	3
6月 1日（水）	ゆうゆう広場・なかはら		表面張力	9
6月 8日（水）	ゆうゆう広場・たかつ		表面張力	3
6月15日（水）	ゆうゆう広場・たま		表面張力	5
6月22日（水）	ゆうゆう広場・あさお		表面張力	7
7月 6日（水）	ゆうゆう広場・みゆき	ゆうゆう各広場	錯視・トリックアート	3
7月13日（水）	ゆうゆう広場・さいわい		錯視・トリックアート	3
9月 7日（水）	ゆうゆう広場・なかはら		錯視・トリックアート	7
9月14日（水）	ゆうゆう広場・たかつ		錯視・トリックアート	5
9月21日（水）	ゆうゆう広場・たま		錯視・トリックアート	5
9月28日（水）	ゆうゆう広場・あさお		錯視・トリックアート	8
11月 2日（水）	ゆうゆう広場・みゆき	ゆうゆう各広場	吹き矢の力学	4
11月 9日（水）	ゆうゆう広場・さいわい		吹き矢の力学	6
11月16日（水）	ゆうゆう広場・なかはら		吹き矢の力学	9
11月30日（水）	ゆうゆう広場・たかつ		吹き矢の力学	8
12月 7日（水）	ゆうゆう広場・たま		吹き矢の力学	7
12月14日（水）	ゆうゆう広場・あさお		吹き矢の力学	7
1月11日（水）	ゆうゆう広場・みゆき	青少年科学館	二十面体作り／熱反応	4
1月18日（水）	ゆうゆう広場・さいわい		二十面体作り／熱反応	5
1月25日（水）	ゆうゆう広場・なかはら		二十面体作り／熱反応	6
2月 8日（水）	ゆうゆう広場・たかつ		二十面体作り／熱反応	10
2月15日（水）	ゆうゆう広場・たま		二十面体作り／熱反応	5
2月22日（水）	ゆうゆう広場・あさお		二十面体作り／熱反応	13
			計 24 回実施　　合計	145

⑨　「ワクワクドキドキ玉手箱」の活用

科学を身近に体験できるよう開発した科学実験キット「ワクワクドキドキ玉手箱」を、サイエンス教室（①）、サイエンスワークショップ（②）、出前科学実験教室（④）、学校の貸出要請などで活用し、子どもの科学への関心の喚起・促進を図った。

「ワクワクドキドキ玉手箱」利用状況

№.	玉手箱の名称	実施回数	№.	玉手箱の名称	実施回数
1	「光通信」光でモシモシ	1	13	重心であそぼう！	8
2	浮沈子	0	14	もしも原子が見えたなら	1
3	モーター	3	15	熱をだすもの	0
4	電池を作ろう！	1	16	真空の科学	0
5	川崎自然ロケ隊	10	17	超低温の世界	4

6	飛ぶもの	7	18	虹をつくろう！	3
7	科学マジックショー	26	19	ドライアイスであそぼう！	3
8	君も科学捜査官	2	20	音	5
9	水ロケットを科学する	0	21	磁石	10
10	鏡を使って遊ぼう	2	22	レンズ	2
11	燃えるもの	0	23	DNA	0
12	大気圧を感じよう	2	24	静電気	0
			合計		90

ワクワクドキドキ玉手箱№17「超低温の世界」　梱包時（左）・内容物（右）

（4）出版事業

川崎市青少年科学館紀要 第 33 号

①　論文・報告・記録

・生田緑地におけるハラビロカマキリ属の生息状況について　・・・・髙中健一郎・服部隆博
・伐採跡地のササ型林床に生育するタマノカンアオイ *Asarum tamaense* Makino の保全に向けて
・・・・（赤尾智宏・倉本宜）
・生田緑地における植栽樹を食草とするコブガ科 Nolidae の記録
・・・・（横田光邦・宮内隆夫・佐野悦子・成田和子・三田村瞬）
・生田緑地におけるシナチクノメイガ *Eumorphobotys eumorphalis* (Caradja, 1925) の記録 ・・・・（横田光邦）
・生田緑地におけるヒロズイラガ *Naryciodes posticalis* Matsumura, 1931 の記録
・・・・（横田光邦・佐野悦子・宮内隆夫）
・川崎市におけるネアカヨシヤンマ *Aeschnophlebia anisoptera* Selys, 1883 の記録・・・・（三田村瞬・三田村秋）
・2005 年以降に多摩区の稲田公園児童プールから救出したトンボのヤゴ　・・・・（岩田臣生）
・生田緑地におけるマエグロハネナガウンカ *Zoraida pterophoroides* (Westwood) の記録
・・・・（岩田臣生・柴田綾乃）
・生田緑地におけるニホンミツバチの生態観察記録　・・・・本郷智子・（渡邉友貴・川島逸郎）
・生田緑地に棲息していた大型テントウムシ 2 種カメノコテントウ *Aiolocaria hexaspilota*
とハラグロオオテントウ *Callicaria superba*　・・・・（岩田臣生・上路ナオ子）
・川崎市生田緑地の鳥類定例調査　・・・・（佐野悦子・大橋毅・水田茂子）・髙中健一郎
・多摩川登戸周辺の植物相　・・・・（佐藤登喜子・吉留憲子）・髙中健一郎
・川崎市内のカンアオイ属の生育地　・・・・（藤間熙子・野口美年子・岩田臣生・岩田芳美）
・自然分野の連続講座実施及び博物館における社会教育主事の役割　・・・・本郷智子・（髙橋裕）・内藤武
・2022 年のプラネタリウム一般向け番組制作
・・・・弘田澄人・内藤武・田中里佳・三浦飛未来・村上ひろ子・（石阪あすみ）
・2022 年度夏季「かわさき星空調査」（肉眼による調査）結果報告　・・・・田中里佳
・2021 年の太陽黒点観測報告・・・・内藤武・田中里佳・村上ひろ子・弘田澄人・（石阪あすみ・糸賀星成）
・ワクワクドキドキ玉手箱教材の改良について　・・・・杉浦孝弘・津田由美子
・気象観測記録 (2022)　・・・・髙中健一郎

②　目録

・川崎市青少年科学館所蔵 根岸昭英蝶類コレクション標本目録

・・・・（堀内慈恵）・髙中健一郎・本郷智子・津田由美子・服部隆博

※（　）内は職員外

（5）その他

新聞記事を含む普及的著作

髙中健一郎, 2022a. 神奈川新聞 生田緑地春夏秋冬 190. 「カエル　土の中から大合唱」（令和 4 年 5 月 17 日付）.

髙中健一郎, 2022b. 神奈川新聞 生田緑地春夏秋冬 202. 「秋の実り　美しいコントラスト」（令和 4 年 11 月 15 日付）.

内藤武, 2022. 文化庁広報誌ぶんかる いきいきミュージアム ～エデュケーションの視点から～ 067. 「ためして、動いて、活きた天文展示へ！」（令和 4 年 6 月 24 日付）

6　ネットワーク事業

（1）展示・企画

①　科学講座「プチロボで競争しよう」

神奈川県立青少年センターとの共催事業。青少年がものづくりを体験しながら科学に親しみ、その創造性を育むことをねらいとする講座を開催した。

対　　象：　小学 3～6 年生
講　　師：　神奈川県立青少年センター職員・市民ボランティア
担当職員：　杉浦孝弘　　（事前申込　参加費　無料）

開催日	内　　容	参加人数
9月18日（日）	ハンダ付け工作をしてみよう！ 2022 年度 プチロボで競走しよう　川崎大会	14
	合計	14

②　科学講座「かながわリレー科学教室」

神奈川県立青少年センターとの共催事業。令和 2 年度以来、2 年ぶりに県内施設巡回での科学実験教室を開催した。県内の小学生（主に川崎市内の小学生）を対象として、科学体験活動（前半サイエンスショー、後半科学工作）を実施した。

対　　象：　小学 3～6 年生
講　　師：　神奈川県立青少年センター職員・市民ボランティア
担当職員：　杉浦孝弘　　（事前申込　参加費　無料）

開催日	内　　容	参加人数
9月11日（日）	かながわリレー科学教室	11
	合計	11

9/11 かながわリレー科学教室

9/18 プチロボで競争しよう川崎大会

③　ＦＩＥＬＤ　ＭＵＳＥＵＭ展：親子で楽しく学べるカガクおもちゃ

専修大学ネットワーク情報学部 2 年コンテンツデザインプログラムを専攻する学生たちが、学童保育施設との連携にもとづきデザインした体験型教材について、8 つのブースによるワークショップ形式で開催した。令和 2･3 年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止として、会場を学習室と科学館外周に広げ、参加者に体験キットを配付することで 3 密回避を徹底の上、実施した。

開 催 日：　令和 5 年 1 月 15 日（日）
展示場所：　自然学習棟 2 階学習室・科学館外周
（参加自由　無料）
参加人数：　100 名

④　川崎市臨海部企画展示「なるほど！ザ・川崎臨海部」

令和 3 年度に引き続き、川崎市臨海部事業推進部との連携による展示会を開催した。館内プラネタリウムドーム入口横壁面、学習室通路でのパネル展示を行った。また、開催期間中の週末には、学習室 1 を使用した展示会や参加企業によるワークショップを実施した。
開催期間：　令和 4 年 11 月 3 日（木・祝）～11 月 27 日（日）
展示場所：　自然学習棟 1 階プラネタリウムドーム入口横壁面
2 階学習室通路（パネル掲示）
自然学習棟 2 階学習室 1（企画展示会開催・11/5,6,12,13,19,20,23、26,27）
自然学習棟 2 階学習室 2･3（iCONM によるワークショップ開催・11/6,13,20,27）
参加人数：　企画展示会来室人数　4,324 名
企業ワークショップ　　79 名

⑤　市民天文講演会「星の音色」
川崎天文同好会との共催により天文講演会を開催し、国立天文台准教授の関井隆氏を講師に、星の振動から星の内部構造を研究する「星震学」についての講演会を、科学館学習室を会場に実施した。
開 催 日：　令和 4 年 5 月 22 日（日）
演　　題：　星の音色
講　　師：　関井　隆（国立天文台　准教授）
参加人数：　43 人

⑥　天体写真展「美しい星々を追いかけて」
多摩天文グループとの共催により天体写真展を開催し、ハレー彗星、しし座流星群、金星太陽面通過などの天体写真 24 点を展示した。
開催期間：　令和 4 年 9 月 3 日（土）～9 月 25 日（日）
演　　題：　星の音色
展示場所：　自然学習棟 1 階プラネタリウムドーム入口横壁面

（2）調査研究・収集保存

①　川崎市域の生物調査
これまでの調査結果をまとめ、「特定非営利活動法人かわさき自然調査団」と協働で「多摩川登戸周辺の植物相」及び「川崎市生田緑地の鳥類定例調査」を紀要第 33 号で公表した。また、調査研究事業のムネアカハラビロカマキリ調査では、神奈川県立生命の星・地球博物館の昆虫を専門とする学芸員である苅部治紀氏に調査段階から原稿内容の精査まで包括的にご助言をいただいた。

（3）学習支援

①　職場体験・職業インタビュー
中学校等の依頼に基づき、博物館業務の解説、業務の一部を体験学習させる職場体験を行った。令和 3 年度に比べ、職場体験に関する学校団体からの要請は増加した（令和 3 年度職場体験 1 回）。感染症拡大防止のため、人数を制限した体験活動を実施した。職場体験に参加した中高生による展示紹介のポップ作り（写真右）を実施し、学校支援の取組を来館者へ発信した。

実施日	実施校	実施形態	参加人数
8 月 9 日（火）	インターンシップ地域連絡協議会 （県立多摩、生田、百合丘高等学校）	職場体験	4
11 月 16 日（水）	川崎市立菅生中学校	職場体験	3
11 月 17 日（木）	川崎市立西中原中学校	職場体験	4
1 月 19 日（木）	川崎市立柿生中学校	職場体験	4

1月26日（木）	川崎市立はるひ野中学校	職場体験	4
1月27日（金）	川崎市立南菅中学校	職場体験	3
2月1日（水）	川崎市立生田中学校	職場体験	2
		7回実施　合計	24

②　中学校連合文化祭開催への協力

川崎市立中学校連合文化祭実行委員会の依頼に基づき、県理科作品展の優秀作品及び日本学生科学賞出品の中学生による研究発表会に参加し、北部中学校の会場として協力した。

開 催 日：　令和4年10月26日（水）
場　　所：　自然学習棟2階学習室・プラネタリウムドーム
参 加 者：　80名
（宮前区、多摩区、麻生区の市立中学校生徒62名・教員18名）
主　　催：　川崎市立中学校連合文化祭実行委員会（理科部門）
担当職員：　杉浦孝弘　田中里佳

③　教員研修会

市内外の小中学校及び理科研究会などの依頼により実施した。
担当職員：髙中健一郎　杉浦孝弘　本郷智子　服部隆博　津田由美子

開催日	内容	対　象	参加人数
5月12日（木）	総合的な学習研修	川崎市立登戸小学校	1
7月29日（金）	林の観察研修	川崎市立坂戸小学校	4
7月29日（金）	地層学習研修	川崎市立宮内小学校	4
9月21日（水）	地層学習研修	川崎市立犬蔵小学校	5
11月20日（土）	天体観測研修	横浜国立大学主催教員ＣＳＴ養成プログラム	11
12月21日（水）	臨地・天体観測研修	川崎市総合教育センター主催教員研修	19
12月22日（木）	科学実験研修	中学校理科初任者教員指導力向上研修	10
1月18日（水）	地層学習研修	川崎市立今井小学校	4
1月18日（水）	林の観察研修	川崎市立土橋小学校	4
1月25日（水）	地層学習研修	川崎市立千代ヶ丘小学校	3
2月1日（水）	地層学習研修	川崎市立久地小学校	4
2月1日（水）	地層学習研修	川崎市立大戸小学校	5
		計12回　12校・団体　　合計	74

④　教職員社会体験研修

主に、神奈川県内の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校に勤務する教職員の5年経験者研修内での社会体験研修としての要請により、社会教育施設の業務体験の機会を提供する。

実施日	実施校	参加人数
8月10・11日（水・木）	神奈川県立相模原中等教育学校　教員	1
	神奈川県立多摩高等学校　教員	1
	合計	2

⑤　博物館実習

大学からの依頼により、学芸員実習（博物館実務実習）を実施した。
担当職員　　弘田澄人　髙中健一郎　杉浦孝弘　内藤武

受入日	大学名	参加人数
8月16日（火）～26日（金）	東京大学、東京学芸大学、宮崎大学、東京都立大学、東京都市大学、東京農業大学、日本大学、明治大学	10

⑥　川崎市小学校理科優秀作品展

小学校児童の今後の理科学習への意欲・関心喚起を目的として、川崎市内の小学生が夏休みを中心に取り組んだ理科自由研究の中から、優秀と認められた作品(各区の市長賞受賞作品)7作品を令和元年度以来、3年ぶりに展示した。

開催期間：　令和 4 年 12 月 1 日（木）～12 月 28 日（水）　　（観覧自由）

展示場所：　自然学習棟 1 階プラネタリウムドーム入口横壁面

担当職員：　杉浦孝弘

⑦　川崎市中学校理科優秀作品展

中学校生徒の今後の理科学習への意欲・関心喚起を目的として、川崎市内の中学生が取り組んだ理科研究作品の中から、優秀であると認められた作品(川崎市中学校理科作品展金賞受賞作品及び日本学生科学賞神奈川県作品展特別賞受賞作品など)、9 作品を展示した。

開催期間：　令和 5 年 1 月 17 日（火）～2 月 5 日（日）　　（観覧自由）

展示場所：　自然学習棟 1 階プラネタリウムドーム入口横壁面

担当職員：　杉浦孝弘

（4）地域振興・生田緑地内

①　川崎市立多摩図書館との連携事業

「物語でめぐる星の世界　その 7　～くるみわり人形の絵本とともに～」

多摩図書館との連携により、プラネタリウムにおいて星空投影と合わせた、読み聞かせ事業を行った。

開 催 日：　令和 4 年 12 月 25 日（日）

参 加 者：　82 名

主　　催：　たまく絵本の会、多摩図書館、科学館

担当職員：　村上ひろ子

②　多摩区民祭

例年 10 月に生田緑地で開催される多摩区民祭（主催：多摩区役所）の一行事として、プラネタリウムにおいて「季節の星空」と題する 30 分間の投影を、かわさきプラネタリウム同好会の協力により実施した。

開 催 日：　令和 4 年 10 月 15 日（土）

投影回数：　4 回

③　生田緑地サマーミュージアム

指定管理者の主催により、例年夏に生田緑地及び緑地内各施設を会場に開催。当館でも展示やワークショップ等の特別行事を実施し、連携・協力している。令和 4 年度は熱中症予防等の観点により、開催時期を例年の夏から秋に延期して「十五夜フェスタ」を実施し、当館においては中秋の名月について子どもから大人まで観覧いただけるお月見プラネタリウムを投影した。

開 催 日：　令和 4 年 9 月 10 日（土）

④　日本民家園との連携事業「七夕体験」「お月見デー」の実施

「七夕体験」

民家園では年中行事として七夕飾りを古民家に展示し、科学館では子ども向け番組として「七夕ものがたり」を投影した。両日のプラネタリウム観覧者全員にオリジナル短冊を配布した（配布数 740）。民家園に短冊を持参すると七夕飾りに参加・体験することができ、ミニ笹のプレゼントも行われた。

開催日	内容	参加人数
7 月 1 日(金)、 2 日(土)、3 日（日）	子ども向け投影「七夕ものがたり」	300 人

「お月見デー」

民家園では、お月見飾りの展示と両施設職員による屋外での「お月見トーク」を実施し、科学館ではお月見プラネタリウムを実施した。民家園と科学館共同で動画「お月見を楽しもう！」を制作して両施設のホームページ等で公開した。

開催日	内容	参加人数
9 月 10 日（土）	お月見トーク	約 50 人 ※自由参加
	お月見プラネタリウム	100 人

科学館に飾られた七夕飾り

民家園でのお月見トーク

⑤　多摩区制 50 周年連続講座「生田緑地から辿る地域福祉の源流」

多摩区公募企画の全 7 回の連続講座のうち 1 回を科学館で実施した。「星空から感じる共に生きる世界観」をテーマとした講話とプラネタリウムの見学を行った。

開 催 日：　令和 5 年 1 月 7 日（土）
参 加 者：　7 人
主　　催：　田園調布学園大学　和研究室・福祉デザイン Lab
担当職員：　弘田澄人

（5）生田緑地内施設及び指定管理者との広報活動の推進、各施設の回遊性の向上

①　夏休み生田緑地スタンプラリー

生田緑地内の回遊性向上・各施設の利用促進等を目的に、緑地内３館、藤子・Ｆ・不二雄ミュージアム、多摩区行政サービスコーナーを会場に指定管理者との連携により、例年夏休み期間中に実施している。

②　生田緑地関係者による連携・協力

生田緑地内の回遊性向上・各施設の利用を促進するため、緑地内３館、生田緑地整備事務所の市職員、指定管理者職員により広報会議、全体会議（毎月）等を定期的に開催し、各施設の実施事業の情報共有、「イベントガイド」「もりのにじ」等の３館＋生田緑地の広報紙の刊行、生田緑地ポスターの作成等を行っている。

（6）博物館連携

当館の地質分野の教材への掲載内容や収蔵資料状況の確認作業にあたり、神奈川県立生命の星・地球博物館の地質を専門とする学芸員である新井田秀一氏、石浜佐栄子氏、西澤文勝氏、箱根ジオミュージアムの笠間友博氏にご助言をいただいた。

7　広報活動

科学館だより、プラネタリウムポスター等広報物の配布拡大、館ホームページ、SNS の活用による情報発信強化に取り組むとともに、報道機関への積極的な情報提供を行いながら新聞、雑誌、テレビ等様々なメディアにおける露出を高め、施設の存在や取組の周知促進を図った。

（1）ホームページアクセス数等

	閲覧等実績
ホームページ	555,584（アクセス数）
ツイッター（Twitter）	4,946（フォロワー数）
フェイスブック（Facebook）	35,520（投稿リーチ数） 2,167（「いいね」数）

（2）外部メディアにおける情報提供数

受入日	掲載数等
新聞	13
テレビ・ラジオ	12
市政だより	12
雑誌	10
その他（web など）	35

8　他施設交流

日本民家園、岡本太郎美術館、藤子・F・不二雄ミュージアムの半券所持者に対するプラネタリウム観覧料の割引適用等を実施した。この他、緑地内施設に所属する市職員、指定管理者職員による全体会議、広報担当者会議等に参加し、業務に係る情報交換、意見交換等を行った。

第３章　資料

１　刊行物

刊行物名	部数
科学館だより（隔月刊）	合計238,000
川崎市青少年科学館年報第41号　2022年度	90
川崎市青少年科学館紀要第33号	200

※科学館だより（Ａ4両面版）年3回、市立小学校114校全家庭数に配布

２　利用案内

開館時間

午前 9 時 30 分～午後 5 時

休館日

毎週月曜日（祝日の場合は開館）
祝日の翌日（土曜・日曜の場合は開館）
年末年始　（12 月 29 日～1 月 3 日）

プラネタリウム一般投影観覧料

個人	一般	400 円
	高校生・大学生	200 円
団体	一般	320 円
	高校生・大学生	160 円
中学生以下		無料

ただし「身体障害者手帳」、本市発行の「福寿手帳」を提示した方等は無料

プラネタリウム投影開始時刻（令和４年度実績）

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当面の間、定員を 100 人（フュージョンは 70 人）に削減して投影を実施した。

	1 回目	2 回目	3 回目	4 回目
土・日・祝日	10:30 フュージョン	12:00 一般向け	13:30 子ども向け	15:00 一般向け
春夏冬休み期間中の平日	子ども向け	一般向け	子ども向け	一般向け
火、木、金曜日	学校向け学習投影（一般観覧不可）			15:00 一般向け
水曜日、第 1 木曜日	学校向け学習投影（一般観覧不可）		13:30 フュージョン	15:00 一般向け

通常のプラネタリウム定員：200 名（フュージョン投影は 132 名）

川崎市青少年科学館年報
第 41 号　2022 年度（令和 4 年度）

2023 年（令和 5 年）7 月発行

発行　　川崎市青少年科学館（かわさき宙と緑の科学館）
所在地　〒214-0032　川崎市多摩区枡形 7-1-2
ＴＥＬ　044-922-4731
ＦＡＸ　044-934-8659
Ｈ　Ｐ　https://www.nature-kawasaki.jp/

Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市